

Acronis



Acronis True Image 2019

ユーザースガイド

目次

1 はじめに	5
1.1 Acronis True Image™ とは	5
1.2 このバージョンの新機能	6
1.3 システム要件	7
1.4 Acronis True Image 2019 のインストール、アップデート、アンインストール ..	9
1.5 Acronis True Image 2019 のアクティブ化	11
1.6 試用版に関する情報	13
1.7 Acronis カスタマエクスペリエンスプログラム	14
1.8 Acronis へのご意見の送信	15
1.9 アプリケーションの基本設定	17
1.10 キーボードショートカット	17
1.11 タッチバーとの統合	19
1.12 テクニカル サポート	20
2 バックアップ	21
2.1 基本的な概念	22
2.2 バックアップ可能な対象と不可能な対象	23
2.3 ローカルストレージまたはネットワークストレージへのバックアップ	24
2.4 Acronis Cloud へのバックアップ	27
2.5 認証バックアップ	30
2.5.1 ブロックチェーンテクノロジーの使用	32
2.5.2 ファイルの信頼性の検証	34
2.5.3 ファイルの信頼性の手動検証	35
2.6 モバイルデバイスのバックアップ	36
2.6.1 Acronis Mobile	37
2.6.2 モバイルバックアップのローカルのバックアップ先	39
2.7 Facebook アカountのバックアップ	39

2.8	Instagram アカountのバックアップ	40
2.9	Office 365 データのバックアップ	42
2.10	スケジュール設定	43
2.11	バックアップの暗号化	44
2.12	バックアップ保持ルール	46
2.13	既存のバックアップをリストに追加する	47
2.14	バックアップからの項目の除外	48
2.15	接続設定	51
2.16	バックアップのネットワーク設定	52
2.17	バックアップアクティビティと統計	53
2.18	ラップトップ電源の設定	55
2.19	通知	56
2.20	Acronis Cloud とは	57
2.20.1	Acronis アカountの作成	57
2.20.2	Acronis Cloud のサブスクリプション	58
2.21	Parallels Desktop のサポート	59
2.22	バックアップリストアイコン	61
2.23	リスト内でのバックアップの並べ替え	62
3	レスキューメディアの作成	64
3.1	ブータブルメディアの作成	64
3.2	Acronis Survival Kit の作成	66
4	リカバリ	69
4.1	Mac をリカバリするタイミング	69
4.2	Mac のリカバリ	70
4.2.1	Boot Camp パーティションに関する FAQ	72
4.3	ファイルの復元	73
4.4	任意のデバイスからのクラウドデータの復元	75

4.5	Facebook アカウントの復元	76
4.6	Instagram アカウントの復元	78
4.7	Office 365 データの復元	78
4.8	バックアップの内容の検索	80
4.9	ファイルリカバリオプション	81
5	ディスクのクローン作成	82
5.1	ディスクのクローン作成ユーティリティ	82
5.2	ディスクのクローンを作成	83
5.3	2 台の Mac の接続	85
6	家族間のデータ保護	86
6.1	家族間のデータ保護とは	86
6.2	新しいデバイスの追加	87
6.3	任意のコンピュータのバックアップ	87
6.4	オンラインダッシュボードでのデータの復元	88
7	データのアーカイブ	89
7.1	データのアーカイブについて	89
7.2	アーカイブから除外されるもの	90
7.3	クラウドアーカイブとオンラインバックアップ	91
7.4	データのアーカイブ作成	92
7.4.1	アーカイブのネットワーク設定	94
7.4.2	アーカイブの暗号化	95
7.5	アーカイブ済みファイルへのアクセス	95
8	ツール	96
8.1	Acronis Active Protection	96
8.1.1	ランサムウェアからのデータの保護	98
8.1.2	Acronis Active Protection の設定	99

1 はじめに

セクションの内容

Acronis True Image™ とは.....	5
このバージョンの新機能.....	6
システム要件.....	7
Acronis True Image 2019 のインストール、アップデート、アンインストール.....	9
Acronis True Image 2019 のアクティブ化.....	11
試用版に関する情報.....	13
Acronis カスタマエクスペリエンスプログラム.....	14
Acronis へのご意見の送信.....	15
アプリケーションの基本設定.....	17
キーボードショートカット.....	17
タッチバーとの統合.....	19
テクニカル サポート.....	20

1.1 Acronis True Image™ とは

Acronis True Image 2019 とは、オペレーティング システム、アプリケーション、設定、すべてのデータなど、お使いの Mac の情報をすべて保護するアプリケーションです。Mac を保護するには、2 つの簡単な操作を実行する必要があります。

1. Mac の完全バックアップを作成する

この操作により、オペレーティング システムのファイルおよびすべてのデータが、バックアップというファイルに保存されます。このファイルはローカル ストレージやネットワーク ストレージに保存したり、Acronis Cloud にアップロードすることができます。詳細については、「ローカル ストレージまたはネットワーク ストレージへのバックアップ 『24ページ』」および「Acronis Cloud へのバックアップ 『27ページ』」を参照してください。

2. Acronis ブータブル メディアを作成する

これは、ブート ファイルが格納されているリムーバブル ドライブです。Mac が起動できなくなった場合は、このメディアによって、Acronis のリカバリ環境を起動し、バックアップを使用して、正常な状態に Mac をロールバックできます。詳細については、「ブータブルレスキューメディアの作成 『64ページ 』」を参照してください。

この 2 つの手順を実行することで、Mac OS X の修復、および見つからなくなったドキュメントのリカバリを数分で実行できるようになります。

主な機能:

- 選択したディスクまたは Mac 全体の内容のローカル ストレージ、ネットワーク ストレージ 『24ページ 』、または Acronis Cloud 『27ページ 』 へのバックアップ
- 選択したファイルやフォルダのローカルストレージやネットワークストレージ 『24ページ 』 または Acronis Cloud 『27ページ 』 へのバックアップ
- データアーカイブ 『89ページ 』
- 複数デバイスのデータ保護 『86ページ 』
- ブータブル レスキュー メディアの作成 『64ページ 』
- ブータブル メディア環境での Mac OS X のリカバリ 『70ページ 』
- Mac OS X の特定のファイルおよびフォルダのリカバリ 『73ページ 』

1.2 このバージョンの新機能

▪ アクティブディスククローン作成

クローンとは、使用中の Mac の完全な複製 『82ページ 』です。システムを停止して再起動する必要はありません。USB-C ケーブルまたは Thunderbolt ケーブルを使用して Mac のデータを移行するか、またはブータブルコピーの作成のために外付けドライブを接続します。Boot Camp もサポートされています。

▪ Fusion Drive のクローン作成

Fusion Drive は、比較的低速なハードディスクドライブ (HDD)と高速なソリッドステートドライブ (SSD)を組み合わせたハイブリッドドライブです。Acronis True Image 2019 を使用すれば、Fusion Drive を Fusion Drive または他のターゲットドライブにクローン作成することができます。

▪ Acronis Survival Kit

障害発生時に Mac をリカバリするために必要な 2 つの重要なコンポーネントとして、システムディスクのバックアップとブータブルメディアがあります。Acronis Survival Kit 『66ページ』 は、この両方のコンポーネントが保存されている外付けハードドライブです。これにより、Mac をリカバリするために必要なすべてのデータを 1 つのデバイスに保存できます。Acronis Survival Kit を作成するには、32 GB より大きな外付けハードドライブまたは USB フラッシュドライブを使用します。

- **Office 365 データのバックアップ**

Acronis True Image は、安全な Acronis Cloud にバックアップすることにより、Microsoft Outlook メールボックスと Microsoft OneDrive データを保護することができます。Acronis Cloud にアップロードした後、すべてのコンテンツをいつでもどのデバイスからでも使用できるようになります。

- **Parallels Desktop 仮想マシンのバックアップとリカバリ**

Acronis True Image は仮想マシンのバックアップにネイティブの Parallels Desktop テクノLOGYを使用するようになったため、Mac 上での仮想マシンのリカバリが完全に簡素化されます。つまり、Parallels Desktop 環境で仮想マシンをリカバリし、即時に起動できます。

- **スケジュールの柔軟性の強化**

外付けドライブを接続するたびにバックアップが開始されるようにする新しいオプションを導入し、スケジュール設定を容易にしました。新しいバックアップ計画を設定し、このオプションを有効にすると、指定した USB ドライブを次回 Mac に接続するときに、バックアップが自動的に開始します。

- **クラウドバックアップの向上**

Acronis のファイルをクラウドにバックアップするための新しいテクノロジーにより、バックアップにかかる時間が短縮し、パフォーマンスが向上しました。つまり、それ自体でもすでに定評のある高速クラウドバックアップがさらに向上し、デジタルプライバシーを保護するためにデータを暗号化する安全なオフサイトの保管場所が提供されるということです。

1.3 システム要件

サポートされるオペレーティング システム:

- macOS Mojave 10.14
- macOS High Sierra 10.13
- macOS Sierra 10.12
- OS X El Capitan 10.11

サポートされるファイル システム:

- APFS (Apple File System)
- HFS+
- コアストレージ
- FAT32
- NTFS (Boot Camp を含む)

NTFS ファイル システムではディスクにデータをバックアップできません。ただし、この種類のファイル システムに存在するバックアップからデータをリカバリすることはできます。

Acronis ブータブル メディアの要件:

- ブータブルメディアを作成する場合、4GB (またはそれ以上)の空き容量があるリムーバブルドライブを、Mac OS 拡張ファイルシステムでフォーマットして使用できます。
- macOS 復元のバージョンは使用している Mac にインストールされた macOS のバージョンと一致していなければなりません。
- CD および DVD メディアはサポートされていません。

サポートされるストレージ メディア:

- 内蔵ドライブ (HDD、SSD、RAID)
- USB ドライブ
- FireWire ドライブ
- Thunderbolt
- ネットワーク共有、NAS
- Acronis Cloud

一般的な要件:

- Acronis True Image 2019 を実行するための管理者権限が必要になります。

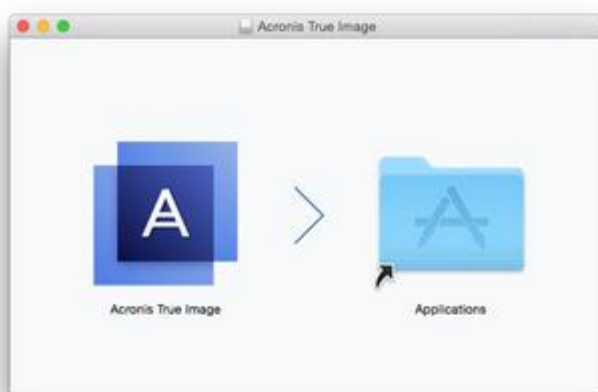
- お使いのMacがApple T2チップを搭載している場合、セキュア ブート設定で[Medium Security]と[Allow booting from external media]を選択してください。詳細については、<https://support.apple.com/en-us/HT208330> を参照してください。

1.4 Acronis True Image 2019 のインストール、アップデート、アンインストール

インストール

Acronis True Image 2019 をインストールする手順は、次のとおりです。

1. Acronis Web サイトから Acronis True Image 2019 セットアップファイルをダウンロードします。
2. Acronis True Image 2019 のセットアップファイル（ファイルの拡張子は.dmg）をダブルクリックします。



3. アプリケーションフォルダに Acronis True Image 2019 アイコンをドラッグします。
4. インストールされたプログラムを実行します。
5. プロンプトが表示されたら、管理者の資格情報を入力します。
6. 使用許諾契約の条件および Acronis カスタマ エクスペリエンス プログラムの内容を読み、承諾します。

Acronis True Image 2019 を初めて始動する場合は、Acronis アカウントにサインインします。製品が自動的に有効化されます。この手順はスキップできます。この場合、プロダク

トキーを入力し、**[有効化]** をクリックします。詳細については、「Acronis True Image 2019 のアクティブ化 『11ページ 』」を参照してください。

注: Mac で macOS High Sierra 10.13 または Mojave 10.14 を実行している場合は、ディスクバックアップ作成、ディスクのクローン作成、ランサムウェアからの保護を行うために、インストールした後で追加の手順を行わなければなりません。次のことを行ってください。

1. **[システム環境設定]** を開きます。
2. **[セキュリティとプライバシー]** の **[一般]** タブに移動します。
3. **[許可]** をクリックして、表示されるプロンプトの内容を受け入れます。

macOS Mojave 10.14 では、自分の個人データ（メール、予定表、メッセージなど）をバックアップする場合は、Acronis True Image 2019 へのフルディスクアクセスを与える必要もあります。このためには、フルディスクアクセスを求めるウィンドウが表示されたときに、画面に表示された指示に従ってください。詳細については、<https://kb.acronis.com/content/61832> を参照してください。

アップデート

Acronis True Image 2019 のアップデートを Acronis Web サイトから入手できる場合、アップデートをダウンロードし、お使いの Acronis True Image 2019 のバージョンを上書きしてインストールすることができます。バックアップおよび設定はすべて保持されます。

自動確認をオンにする手順は、次のとおりです。

- **[Acronis True Image]** メニューで、**[基本設定]** をクリックし、**[起動時にアップデートを自動確認]** チェックボックスをオンにします。

手動でアップデートを確認する手順は、次のとおりです。

- **[Acronis True Image]** メニューで、**[アップデートの確認]** をクリックします。

アンインストール

Mac から Acronis True Image 2019 をアンインストールする手順は、次のとおりです。

1. Finder を開き、**[アプリケーション]** をクリックします。

2. 一覧から Acronis True Image 2019 を探し、ゴミ箱にドラッグします。

1.5 Acronis True Image 2019 のアクティブ化

Acronis True Image 2019 を使用するには、インターネット経由でアクティブ化する必要があります。有効化しない場合、製品の全機能の利用有効期間は 30 日です。この期間にアクティブ化しないと、リカバリ以外のすべての機能が利用できなくなります。

Acronis True Image 2019のアクティブ化

Acronis True Image 2019 のアクティブ化は、お使いのコンピュータ上で、またはお使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は他のコンピュータから実行できます。

インターネットに接続されているコンピュータ上でのアクティブ化

コンピュータがインターネットに接続されている場合、製品のアクティブ化は自動的に実行されます。

Acronis True Image 2019 をインストールするコンピュータがインターネットに接続されていない場合、またはプログラムが Acronis アクティブ化サーバーに接続できない場合は、サイドバーの **【アカウント】** をクリックし、次のいずれかの操作を実行します。

- **もう一度試す** - Acronis アクティブ化サーバーに再度接続する場合は、このオプションを選択します。
- **オフラインでアクティブ化** - インターネットに接続されている他のコンピュータから手動でプログラムをアクティブ化できます（以下を参照）。

他のコンピュータからのアクティブ化

お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、インターネットに接続されている他のコンピュータを使用して Acronis True Image 2019 をアクティブ化できます。

他のコンピュータから製品をアクティブ化する手順は、次のとおりです。

1. コンピュータに Acronis True Image 2019 をインストールして起動します。
2. サイドバーの **【アカウント】** をクリックし、**【オフラインでアクティブ化】** をクリックします。

3. [Acronis True Image 2019 のアクティブ化] ウィンドウで、次の簡単な 3 つの手順を実行します。
 1. **[ファイルに保存]** ボタンをクリックして、インストール コードをファイルに保存し、ファイルの保存先としてリムーバブル メディア (USB フラッシュ ドライブなど) を指定します。このコードを紙に書き留めておいてもかまいません。
 2. インターネットに接続されている他のコンピュータで、
<https://www.acronis.com/activation/> を開きます。画面上の指示に従って、インストール コードを使用してアクティブ化コードを取得します。取得したアクティブ化コードをリムーバブル メディアのファイルに保存するか、紙に書き留めます。
 3. お使いのコンピュータで、**[ファイルから読み込む]** ボタンをクリックし、アクティブ化コードを含むファイルへのパスを指定するか、紙に書き留めた情報をボックスに入力します。
4. **[アクティブ化]** をクリックします。

さらに、<https://goo.gl/DHd1h5> のビデオ解説 (英語)をご覧ください。

「アクティブ化されている製品の数が多すぎる」問題

考えられる原因：

- **Acronis True Image 2019 がインストールされているコンピュータの数が最大数を超えている。**

たとえば、コンピュータ 1 台分のライセンスまたはプロダクトキーを所有するユーザーが、2 台目のコンピュータに Acronis True Image をインストールする場合などです。

解決策：

- 新しいプロダクト キーを入力します。新しいプロダクトキーを所有していない場合、Acronis ビルトインストアまたは Acronis Web サイトで購入できます。
- 製品がすでにアクティブ化されているコンピュータから新しいコンピュータにライセンスを移動します。そのためには、ライセンスの移動元のコンピュータを選択します。選択したコンピュータで Acronis True Image が非アクティブ化されることに注意してください。
- **macOS を再インストールするか、コンピュータのハードウェアを変更する。**

例えば、ご使用のコンピュータのマザーボードまたはプロセッサをアップグレードしたとします。この場合、Acronis True Image ではコンピュータが新しいコンピュータとして認識されるため、非アクティブになります。

解決策：

ご使用のコンピュータで Acronis True Image を再アクティブ化するには、古い名前でもリストからそのコンピュータを選択します。

サブスクリプションライセンスを手動で管理する

Acronis True Image 2019 のサブスクリプションベースバージョンを使用している場合、Acronis Web サイトでライセンスを手動で管理することができます。次の処理を実行できます。

- コンピュータ間でのライセンスの移動
- アカウント間でのライセンスの転送
- コンピュータからのライセンスの削除
- 製品のアクティブ化の解決（「アクティブ化されている製品の数が多すぎる」問題を含む）
- 新規ライセンスの購入

ライセンスを管理するには次のようにします。

1. <https://account.acronis.com/> にアクセスし、Acronis アカウントでサインインします。
2. **[製品]** セクションで、Acronis True Image 2019 を見つけて **[管理]** をクリックします。

1.6 試用版に関する情報

Acronis True Image 2019 を初めて試用し、評価する場合は、製品の 30 日間の無償試用版をインストールすることができます。試用期間後、プログラムの機能がブロックされるため、引き続き Acronis True Image 2019 を使用するには製品版にアップグレードする必要があります。ディスクのクローン作成は試用版では使用できないことに注意してください。

試用期間が終了した後、ローカルおよびネットワーク上のバックアップは削除されず、Acronis True Image 2019 の製品版でリカバリする際に使用できます。

Acronis Cloud

試用期間中、クラウドのストレージ容量は 1,000 GB になります。この容量を使用してオンライン バックアップを保存できます。試用期間終了後 30 日間、Acronis Cloud はリカバリ専用モードで動作します。この期間が過ぎると Acronis Cloud サービスは利用できなくなり、データはすべて削除されます。

試用版のインストール

試用版の使用を開始するには、製品をインストールして、**[試用を開始]** をクリックします。詳細については、「Acronis True Image 2019 のインストール、アップデート、アンインストール 『9ページ 』」を参照してください。

製品版にアップグレード

製品版にアップグレードする手順は、次のとおりです。

1. Acronis Web サイト (<https://go.acronis.com/timac2019/getfullversion>)で製品版を購入します。
2. Acronis True Image 2019 を起動します。
3. メニュー バーで **[Acronis True Image 2019]**、**[プロダクト キーを入力]** の順にクリックします。
4. 該当するボックスに完全なプロダクト キーを入力して、**[有効化]** をクリックします。

1.7 Acronis カスタマエクスペリエンスプログラム

Acronis カスタマ エクスペリエンス プログラム (CEP)は、Acronis のお客様が、Acronis 製品の機能、設計、および開発に貢献できる新しい手段です。このプログラムにより、お客様は、ホスト コンピュータや仮想マシンのハードウェア構成、使用頻度が最も多い（および少ない）機能、発生する問題の性質に関する情報など、さまざまな情報を提供できます。この情報を基にして、お客様が頻繁に使用する Acronis 製品と機能を向上させることができます。

いずれかを選択してください。

1. **[Acronis True Image]** メニューで、**[基本設定]** をクリックします。

2. プログラムへの参加をやめるには、**[Acronis カスタマエクスペリエンスプログラムに参加する]** のチェックボックスをオフにします。

このプログラムへの参加を選択した場合、技術的な情報が毎週、自動的に収集されます。氏名、住所、電話番号、キーボード入力などの個人データは収集されません。CEP への参加は任意ですが、お客様のニーズをいっそう満たすために、ソフトウェアの改善と拡張された機能を提供することを最終的な目的としています。

1.8 Acronis へのご意見の送信

Acronis では、製品やサービスの機能、信頼性、速度のさらなる向上を重ね、継続的な改善を実施しています。フィードバックフォームから、解決すべき不便な点や問題点をお寄せいただくことができます。いただいたご意見をもとに Acronis True Image 2019 を改善いたします。お手数ではございますが、製品へのご意見、新機能のご要望、問題のご報告などをぜひお知らせください。ご意見や問題の内容については必ず確認し、分析いたします。

すべてのフィードバックメッセージへの返信は致しかねます。Acronis True Image 2019 製品に関してご質問がある場合は、テクニカルサポート 『20ページ』までお問い合わせください。

Acronis にご意見を送信するには、次の操作を実行します。

1. **Acronis True Image 2019** のメニューにある **【フィードバックの送信】** をクリックします。フィードバックフォームが開きます。



2. リストからご意見の内容を選択します。
3. 本文を入力します。
4. 名前と電子メールアドレスを入力します。
5. (オプションの手順)デフォルトでは、Acronis True Image 2019 はコンソールウィンドウのスクリーンショットを添付します。問題を調査したり意見を把握する際に不要と思われる場合は、削除してもかまいません。
6. (オプションの手順)ファイルや Acronis システムレポートを添付することもできます。

Acronis システムレポートには、さまざまな技術的な情報（ハードウェアの設定、OS X のバージョン、システムログ、Acronis True Image 2019 のイベントログ、バックアップの設定)が含まれています。

注意: Acronis には、氏名、住所、電話番号、キーボード入力などの個人データは含まれていません。

Acronis True Image 2019 で応答が停止した場合など、重大なエラーが発生した場合は、システムレポートを添付することをお勧めいたします。

7. **[送信]** をクリックします。

1.9 アプリケーションの基本設定

[基本設定] ウィンドウには、Acronis True Image 2019 の一般的な設定が含まれています。これを開く手順は、次のとおりです。

1. Acronis True Image 2019 を起動します。
2. [Acronis True Image] メニューで、**[基本設定]** をクリックします。

次の設定を使用できます。

- **バッテリー電源での作業中はバックアップを行わない**

詳細については、「ラップトップ電源の設定 『55ページ 』」を参照してください。

- **起動時にアップデートを自動確認**

詳細については、「Acronis True Image 2019 のインストール、アップデート、アンインストール 『9ページ 』」を参照してください。

- **Acronis カスタマエクスペリエンスプログラムに参加する**

詳細については、「Acronis カスタマエクスペリエンスプログラム 『14ページ 』」を参照してください。

- **通知センターに通知を表示する**

詳細については、「通知 『56ページ 』」を参照してください。

1.10 キーボードショートカット

Acronis True Image 2019 では、キーボードショートカットを使用して、より簡単かつ素早くユーザーインターフェイス移動できるようになっています。ショートカットを適用するには、2 つ以上のキーを同時に押します。Acronis True Image のショートカットの一部は、アプリケーションメニュー内に指定されています。メニュー内では、一部のキー名が以下のアイコンで置き換えられています。

キー名	アイコン
コマンド	⌘

キー名	アイコン
オプション	
Shift	

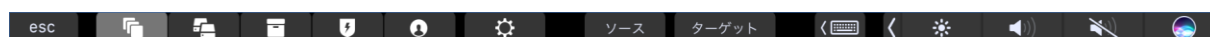
Acronis True Image 2019 でのキーボードショートカット:

ショートカット	説明
Command + U	製品の更新を確認
Shift + Command + E	プロダクトキーを入力
Command + ,	アプリケーション設定ウィンドウを開く
Shift + Command + L	Acronis のアカウントにサインイン
Shift + Command + O	Acronis のアカウントからサインオフ
Command + N	新規バックアップを作成
Command + 1	[バックアップ] セクションを開く
Command + 2	[アーカイブ] セクションを開く
Command + 3	[Active Protection] セクションを開く
Command + 4	[アカウント] セクションを開く
[バックアップ] セクション	
Command + S	バックアップ元のダイアログを開く
Command + D	バックアップ先のダイアログを開く
Command + Shift + S	バックアップの設定ダイアログを開く
[アーカイブ] セクション	
Command + O	アーカイブに追加するファイルの選択ダイアログを開く
Command + D	アーカイブ先のダイアログを開く
Command + I	アーカイブのチュートリアルウィンドウを開く
Command + Shift + S	アーカイブの設定ダイアログを開く






1.11 タッチバーとの統合


2016 年モデルの 15 インチの MacBook Pro と 13 インチの MacBook Pro(4 つの Thunderbolt 3 ポート搭載)以降には、キーボードの上部に、Touch Bar と呼ばれる特別な操作エリアがあります。Touch Bar には、アクティブなウィンドウに基づいて最適と判断されるコントロールや、その時点で作業中のタスクが表示されます。このテクノロジーにより、ユーザ インターフェイスの操作がシンプルになり、ボタンのクリック、Web サイトの切り替え、検索の実行、テキスト形式の変更、標準の Mac システム コントロールの使用など、さまざまな操作を簡単に行うことができます。Touch Bar について詳しくは、Apple の Web サイト: <https://support.apple.com/en-us/HT207055> をご覧ください。

Acronis True Image 2019 は Touch Bar に対応しています。Touch Bar を使用して、異なるアプリケーションのセクションの切り替え、バックアップの設定、アーカイブの作成、データの復元など、さまざまな操作を行えます。たとえば、リストからバックアップを選択すると、Touch Bar は次のようになります。





Esc ボタンと右のアイコンは Mac のシステム コントロールです。左側には、Acronis True Image 2019 のセクションを移動するためのアイコンが表示されます。

アイコン	説明
	バックアップ
	ディスクのクローン作成
	アーカイブ
	Active Protection
	アカウント

現在のウィンドウのコントロールは中央に置かれます。この例では、バックアップ元、宛先、設定()を変更でき、バックアップを開始できます。

次に示す Touch Bar アイコンを使用して、新しいバックアップやアーカイブを作成することもできます。

アイコン	説明
	新規バックアップを作成
	新規アーカイブの作成または既存アーカイブへのファイルの追加

1.12 テクニカル サポート

メンテナンスとサポート プログラム

Acronis 製品に関してご質問がある場合は、<https://www.acronis.com/support/> にアクセスしてください。

製品の更新

アカウント (<https://account.acronis.com/>)にログインして製品を登録すると、登録したすべての Acronis ソフトウェア製品の最新のアップデートをいつでもウェブサイトからダウンロードできるようになります。詳細については、「**Registering Acronis Products at the Web Site (ウェブサイトでアクロニス製品を登録する)**」

(<https://kb.acronis.com/content/4834>)および「**Acronis Web Site User Guide (Acronis ウェブサイト ユーザー ガイド)**」 (<https://kb.acronis.com/content/8128>)を参照してください。

2 バックアップ

セクションの内容

基本的な概念	22
バックアップ可能な対象と不可能な対象.....	23
ローカルストレージまたはネットワークストレージへのバックアップ	24
Acronis Cloud へのバックアップ	27
認証バックアップ	30
モバイルデバイスのバックアップ	36
Facebook アカウントのバックアップ	39
Instagram アカウントのバックアップ	40
Office 365 データのバックアップ	42
スケジュール設定	43
バックアップの暗号化	44
バックアップ保持ルール.....	46
既存のバックアップをリストに追加する.....	47
バックアップからの項目の除外	48
接続設定.....	51
バックアップのネットワーク設定	52
バックアップアクティビティと統計	53
ラップトップ電源の設定.....	55
通知	56
Acronis Cloud とは.....	57
Parallels Desktop のサポート	59
バックアップリストアイコン	61
リスト内でのバックアップの並べ替え	62

2.1 基本的な概念

バックアップとリカバリ

バックアップとは、元のデータが失われてもそのコピーから**リカバリ**できるように、データのコピーを作成しておくことです。

バックアップの主な目的は 2 つあります。

- 1 つは、オペレーティング システムが損傷した場合や起動しない場合に、OS をリカバリする『70ページ』という目的です。この処理を災害復旧といいます。災害からの Mac の保護の詳細については、「ローカル ストレージまたはネットワーク ストレージへのバックアップ『24ページ』」、および「Acronis Cloud へのバックアップ『27ページ』」を参照してください。
- もう 1 つは、ファイルやフォルダが誤って削除されたり損傷した後に、特定のファイルやフォルダをリカバリする『73ページ』という目的です。

リカバリの方法:

- **完全リカバリ:** 元のロケーションまたは新しいロケーションにリカバリできます。
元のロケーションを選択すると、バックアップのデータで完全に上書きされます。新しいロケーションの場合、データはバックアップから新しいロケーションに単にコピーされます。
- **増分リカバリ:** 元のロケーションのみへ、クラウドバックアップのみからのリカバリを実行します。リカバリ開始前に、元のロケーションのファイルとバックアップ内のファイルのファイル属性（ファイルサイズ、最終更新日など）が比較されます。一致しなかったファイルはリカバリ用にマークが付けられ、その他のファイルはリカバリ中スキップされます。このように完全リカバリとは異なり、Acronis True Image は変更されたファイルだけをリカバリします。この方法ではリカバリ時間が大きく削減され、Acronis Cloud からのリカバリ中のインターネット トラフィックが節約されます。

バックアップ バージョン

バックアップバージョンは、バックアップの処理中に作成されます。各バージョンはそれぞれ特定の時点を表しており、その時点の状態にシステムやデータを復元することができます。最初のバックアップ バージョンには、バックアップ対象として選択したすべてのデータが

含まれます。2 回目以降のバージョンでは、以前のバックアップ バージョンから変更が加えられたデータのみが含まれるようになります。バックアップバージョンはすべて、1 つのバックアップファイルに保存されます。

バックアップ ファイルの形式

Acronis True Image 2019 では、ローカル ストレージまたはネットワーク ストレージに Mac をバックアップすると、バックアップ データが独自の .tib 形式に圧縮されて保存されます。.tib ファイルのバックアップのデータは、Acronis True Image 2019 を使用した場合にのみリカバリできます。

Acronis Cloud 『57ページ』 に Mac をバックアップする場合、Acronis True Image 2019 はデータを「現状のまま」保存します。インターネットに接続された任意の Mac コンピュータで、製品または Acronis Cloud Web アプリケーション 『57ページ』を使用してデータをリカバリできます。

スケジュール作成

作成したバックアップを実際に役立てるには、可能な限り最新のバックアップを作成しておく必要があります。バックアップを定期的に実行するには、バックアップのスケジュールを作成します 『43ページ』。

バックアップ保持ルール

手動またはスケジュールでバックアップ処理が実行されるたびに、Acronis True Image 2019 ではバックアップの保存先に新しいバックアップ バージョンが作成されます。使用しなくなったバックアップバージョンを自動的に削除するため、バックアップ保持ルールを設定できます。詳細については、「バックアップ保持ルール 『46ページ』」を参照してください。

2.2 バックアップ可能な対象と不可能な対象

バックアップが可能な対象と不可能な対象は次の表のとおりです。

	バックアップの保存先							
	内蔵ドライブ (HDD、 SSD、RAID)	Acronis Cloud	USB ドライブ	Thunderbolt	AirPort Time Capsule	ネットワーク 共有、NAS	CD、DVD	FTPサーバー
内蔵ドライブ (HDD、SSD)	+	+	+	+	+	+	-	-
USB ドライブ	+	+	+	+	+	+	-	-
FireWire ドライブ	+	+	+	+	+	+	-	-
Thunderbolt	+	+	+	+	+	+	-	-
Fusion Drive	+	+	+	+	+	+	-	-
FileVault 2 で保護されているハード ドライブ	+	+	+	+	+	+	-	-
Boot Camp がインストールされているハード ドライブ	+	+	+	+	+	+	-	-
特定のファイル	+	+	+	+	+	+	-	-
個別のパーティション	-	-	-	-	-	-	-	-
RAID、Apple RAID	-	-	-	-	-	-	-	-
CD、DVD	-	-	-	-	-	-	-	-
APM ディスク	-	-	-	-	-	-	-	-

2.3 ローカルストレージまたはネットワークストレージへのバックアップ

ローカルストレージまたはネットワークストレージにデータをバックアップするには、次の手順を実行します。

1. Acronis True Image 2019 を起動します。
2. 次のいずれかを実行します。
 - 最初のバックアップの場合は、この手順をスキップします。

- バックアップを既に作成していて新しいバックアップを作成する場合は、バックアップリストの下にある **[バックアップの追加]** をクリックします。

注意: バックアップを削除するには、そのバックアップを選択してから **[削除]** をクリックします。バックアップがリストから削除され、バックアップファイルがバックアップストレージから削除されます。

3. バックアップソースのアイコンをクリックして、バックアップするデータを選択します。

- **Mac 全体**

このオプションを選択すると、Acronis True Image は、内蔵ハードドライブすべてをディスクモードでバックアップします。バックアップ対象は、オペレーティングシステム、インストールされているプログラム、システムの設定、写真、音楽、ドキュメントなどの個人データすべてです。

- **ディスク**

- **ファイルとフォルダ**

- **モバイルデバイス**

詳細については、「モバイルデバイスのバックアップ 『36ページ 』」を参照してください。

- **ソーシャルネットワーク**

詳細については、「Facebook アカウントのバックアップ 『39ページ 』」または「Instagram アカウントのバックアップ 『40ページ 』」を参照してください。

- **認証するファイル**

詳細については、「認証バックアップ 『30ページ 』」を参照してください。

- NAS デバイス（接続されている場合）



4. バックアップの保存先のアイコンをクリックし、バックアップファイルを保存する場所を選択して、**[OK]** をクリックします。保存場所が一覧に表示されない場合は、**[参照]** をクリックして場所を選択します。

NAS デバイスがある場合は、自動的に検出され、その他の保存場所と一緒に表示されます。

5. （オプションの手順）設定を追加します。次の操作を実行できます。

- 手動でファイルやフォルダを除外するには、**[設定]** → **[除外]** の順にクリックします。詳細については、「バックアップからの項目の除外 『48ページ 』」を参照してください。
- バックアップスケジュールを設定するには、**[設定]** → **[スケジュール]** の順にクリックします。詳細については、「スケジュール設定 『43ページ 』」を参照してください。
- バックアップ保持ルールを設定するには、**[設定]** → **[クリーンアップ]** の順にクリックします。詳細については、「バックアップ保持ルール 『46ページ 』」を参照してください。

- パスワードや暗号化を使用してバックアップを保護するには、**[設定]** → **[暗号化]** の順にクリックします。詳細については、「バックアップの暗号化 『44ページ 』」を参照してください。

6. すべての設定が完了してバックアップを開始する準備ができたなら、**[バックアップ]** をクリックします。

Acronis True Image バックアップから Mac を復元するには、Acronis ブータブルメディアが必要になります。まだ用意していない場合は作成してください。詳細については、「ブータブルレスキューメディアの作成 『64ページ 』」を参照してください。

2.4 Acronis Cloud へのバックアップ

Acronis Cloud の使用を開始する手順は、次のとおりです。

- アカウントをお持ちでない場合は、Acronis アカウントを作成します 『57ページ 』。
- Acronis Cloud サービスにサブスクライブします 『58ページ 』。

Acronis Cloud に Mac をバックアップする手順は、次のとおりです。

1. Acronis True Image 2019 を起動します。

2. 次のいずれかを実行します。

- 最初のバックアップの場合は、この手順をスキップします。
- バックアップを既に作成していて新しいバックアップを作成する場合は、バックアップリストの下にある **[+]** アイコンをクリックします。

注意: バックアップを削除するには、そのバックアップを選択してから **[削除]** をクリックします。バックアップがリストから削除され、バックアップファイルがバックアップストレージから削除されます。

3. バックアップソースのアイコンをクリックして、バックアップするデータを選択します。

- **Mac 全体**

このオプションを選択すると、Acronis True Image は、内蔵ハードドライブすべてをディスクモードでバックアップします。バックアップ対象は、オペレーティングシステム、インストールされているプログラム、システムの設定、写真、音楽、ドキュメントなどの個人データすべてです。

- ディスク
- ファイルとフォルダ
- モバイルデバイス

詳細については、「モバイルデバイスのバックアップ 『36ページ 』」を参照してください。

- ソーシャルネットワーク

詳細については、「Facebook アカウントのバックアップ 『39ページ 』」または「Instagram アカウントのバックアップ 『40ページ 』」を参照してください。

- 認証するファイル

詳細については、「認証バックアップ 『30ページ 』」を参照してください。

- NAS デバイス（接続されている場合）



4. [バックアップの保存先] アイコンをクリックし、Acronis Cloud を選択して、[OK] をクリックします。

まだサインインしていない場合は、Acronis アカウントの電子メールアドレスとパスワードを入力し、[サインイン] をクリックします。

Acronis アカウントをお持ちでない場合は、**[アカウントの作成]** をクリックして電子メールアドレスとパスワードを入力し、**[アカウントの作成]** ボタンをクリックします。詳細については、「Acronis アカウントの作成 『57ページ 』」を参照してください。

5. (オプションの手順)設定を追加します。次の操作を実行できます。

- サードパーティ製のサービスを利用している場合は、サービスで保護されているデータを除外できます。**[バックアップの最適化]** をクリックして、除外するデータを指定します。詳細については、「バックアップからの項目の除外 『48ページ 』」を参照してください。
- 手動でファイルやフォルダを除外するには、**[設定]** → **[除外]** の順にクリックします。詳細については、「バックアップからの項目の除外 『48ページ 』」を参照してください。
- バックアップスケジュールを設定するには、**[設定]** → **[スケジュール]** の順にクリックします。詳細については、「スケジュール設定 『43ページ 』」を参照してください。
- バックアップ保持ルールを設定するには、**[設定]** → **[クリーンアップ]** の順にクリックします。詳細については、「バックアップ保持ルール 『46ページ 』」を参照してください。
- パスワードや暗号化を使用してバックアップを保護するには、**[設定]** → **[暗号化]** の順にクリックします。詳細については、「バックアップの暗号化 『44ページ 』」を参照してください。
- 特定のデータセンターを選択し、アップロード速度を設定するには、**[設定]** → **[ネットワーク]** の順にクリックします。詳細については、「バックアップのネットワーク設定 『52ページ 』」を参照してください。

6. すべての設定が完了してバックアップを開始する準備ができたなら、**[バックアップ]** をクリックします。

最初のオンラインバックアップは、完了するまでにかなりの時間を要することがあります。以降のバックアップ処理は、ファイルに対する変更のみが転送されるので、大幅に速くなります。

Acronis True Image バックアップから Mac を復元するには、Acronis ブータブルメディアが必要になります。まだ用意していない場合は作成してください。詳細については、「ブータブルレスキューメディアの作成 『64ページ 』」を参照してください。

2.5 認証バックアップ

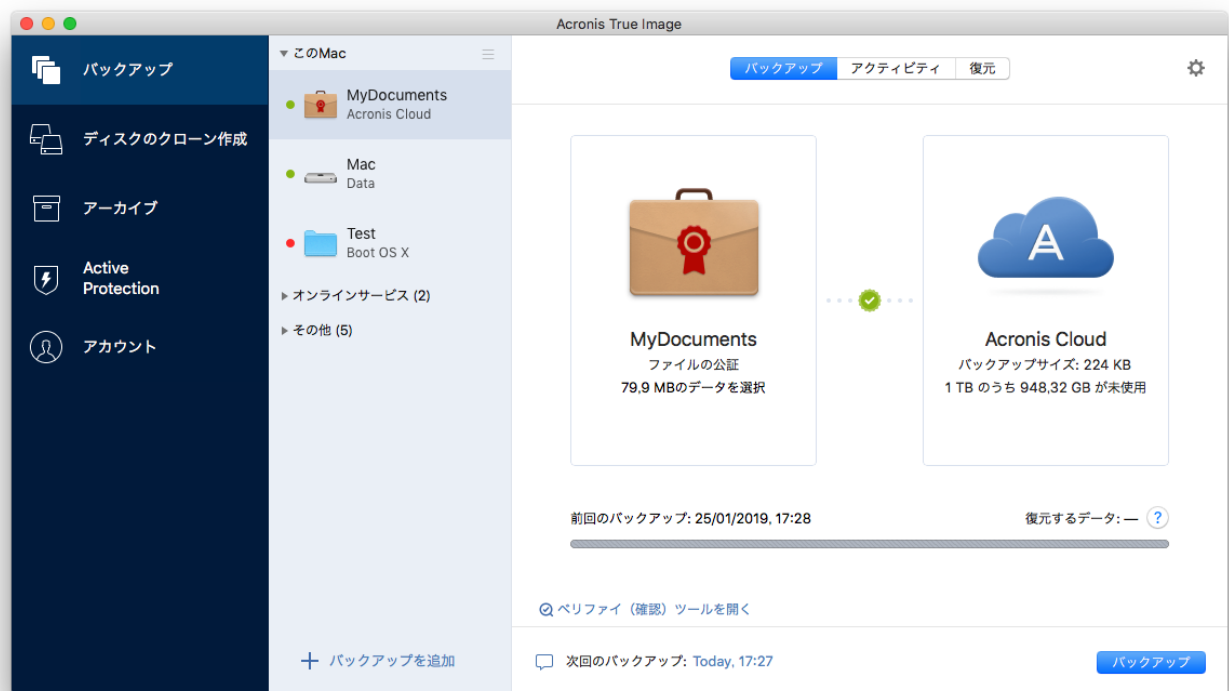
Acronis True Image 2019 は、ブロックチェーンテクノロジーを使用してファイルを不正な変更から保護できます。これにより、正しいバックアップファイルからデータを復元できることが保証されます。法律文書など信頼性の証明が求められるファイルは、このタイプのバックアップを使用して保護することをおすすめします。詳細については、「ブロックチェーンテクノロジーの使用 『32ページ 』」を参照してください。

ファイルとフォルダの認証バックアップを作成する手順:

1. Acronis True Image 2019 を起動します。
2. 次のいずれかを実行します。
 - 最初のバックアップの場合は、この手順をスキップします。
 - バックアップを既に作成していて新しいバックアップを作成する場合は、バックアップリストの下にある **[バックアップの追加]** をクリックします。

注意:バックアップを削除するには、そのバックアップを右クリックして **[削除]** をクリックします。バックアップがリストから削除され、バックアップファイルがバックアップストレージから削除されます。

3. [バックアップ対象] アイコンをクリックし、**[認証バックアップ]** をクリックして、バックアップするファイルとフォルダを選択します。



4. バックアップの保存先のアイコンをクリックし、バックアップファイルを保存する場所を選択して、**[OK]** をクリックします。保存場所が一覧に表示されない場合は、**[参照]** をクリックして場所を選択します。

NAS デバイスがある場合は、自動的に検出され、その他の保存場所と一緒に表示されます。

5. (オプションの手順)設定を追加します。次の操作を実行できます。

- 手動でファイルやフォルダを除外するには、**[設定]** → **[除外]** の順にクリックします。詳細については、「バックアップからの項目の除外 『48ページ 』」を参照してください。

デジタル署名のあるファイルをバックアップから除外するには、**[デジタル署名されたファイルは認証しない]** チェックボックスをオンにします。詳細については、「バックアップからの項目の除外 『48ページ 』」を参照してください。

- バックアップスケジュールを設定するには、**[設定]** → **[スケジュール]** の順にクリックします。詳細については、「スケジュール設定 『43ページ 』」を参照してください。

- バックアップ保持ルールを設定するには、**[設定]** → **[クリーンアップ]** の順にクリックします。詳細については、「バックアップ保持ルール 『46ページ 』」を参照してください。
- パスワードや暗号化を使用してバックアップを保護するには、**[設定]** → **[暗号化]** の順にクリックします。詳細については、「バックアップの暗号化 『44ページ 』」を参照してください。
- 特定のデータセンターを選択し、アップロード速度を設定するには、**[設定]** → **[ネットワーク]** の順にクリックします。詳細については、「バックアップのネットワーク設定 『52ページ 』」を参照してください。

6. すべての設定が完了してバックアップを開始する準備ができれば、**[バックアップ]** をクリックします。

2.5.1 ブロックチェーンテクノロジーの使用

Acronis True Image 2019 は、ブロックチェーンテクノロジーを使用してバックアップファイルをトップレベルのセキュリティで保護します。このテクノロジーにより、ファイルが不正ソフトウェアによって変更されていないこと、および復元時に正しいバックアップファイルからデータを復元できることが保証されます。

ブロックチェーンとは

ブロックチェーンは、トランザクションとそのシーケンスに関する情報を格納するデータベースです。一般に、トランザクションは財務処理や各種資産の処理などに関するイベントを意味します。トランザクションはブロックにまとめられ、ブロックがデータベースに 1 つずつ書き込まれ、ブロックチェーンを形成します。すべてのトランザクションとすべてのブロックに一意的識別番号が割り振られています。どのブロックにもチェーンの以前のブロックすべての情報が格納されていることが重要です。データベースに書き込まれたトランザクション情報は、誰もいかなる手段でも変更できません。同じくトランザクションシーケンスも変更できません。データベース内の情報を変更しようとしても、任意のデータベースユーザーによって簡単に見破られます。これは、正しくないトランザクションやブロックに関する情報がそれ以降のどのブロックにも存在しないためです。このテクノロジーにより、データベースに格納されているデータが正当で、特定の人物に属しており、誰にも変更されていない

ことが保証されます。ブロックチェーンの詳細については、
[https://en.wikipedia.org/wiki/Blockchain_\(database\)](https://en.wikipedia.org/wiki/Blockchain_(database)) を参照してください。

Acronis True Image 2019によるブロックチェーンテクノロジーの使用方法

不正な変更からファイルを保護するため、Acronis True Image 2019 は Acronis 認証テクノロジーを使用します。これは、任意のデータオブジェクトおよびデータストリームにタイムスタンプとフィンガープリントを付けるための汎用ソリューションです。大量のデータをブロックチェーンデータベースに格納できないため、Acronis True Image 2019 はファイルのハッシュコードだけを Acronis 認証サービスに送ります。

ハッシュコードは、ハッシュ関数によって生成される固定サイズの一意の番号です。このコードは、バックアップファイルなどの任意のデータセットを数学的に定義します。バックアップファイルを変更すると、そのハッシュコードも変更されます。したがって、ファイルが変更されているかどうかを確認する場合、最初に生成されたハッシュコードとファイルの現在の状態を比較するだけで済みます。コードが一致した場合、ファイルが誰にも変更されていないことが保証されます。

Acronis 認証は、ファイルのハッシュコードを受け取ると、新しい1つのハッシュコードを計算し、ブロックチェーンベースのイーサリアムデータベースにそのハッシュコードを送ります。イーサリアムの詳細については、<https://www.ethereum.org/> を参照してください。

ハッシュコードがデータベースに送られると、そのハッシュコードを計算するために使用したファイルが、Acronis 認証によって認証されます。「ファイルの信頼性の検証 『34ページ』」で説明されている手順に従うと、ファイルの信頼性をいつでも簡単に検証できます。すべての認証されたファイルには、認証証明書があります。認証証明書は、ファイルがブロックチェーンテクノロジーによって保護されていることの文書による証明です。証明書には、ファイルに関する一般的な情報と、ファイルの信頼性を手動で検証するために利用できる技術的な詳細が含まれています。詳細については、「ファイルの信頼性の手動検証 『35ページ』」を参照してください。

2.5.2 ファイルの信頼性の検証

Acronis True Image 2019 は、ブロックチェーンテクノロジーを使用してバックアップファイルを不正な変更から保護できます。これにより、正しいバックアップファイルからデータを復元できることが保証されます。

ファイルの信頼性を検証する手順:

1. Acronis True Image 2019 を起動します。
2. サイドバーで **[バックアップ]** をクリックします。
3. バックアップリストから、復元するファイルを含む認証バックアップを選択します。
4. 右側のペインで、**[リカバリ]** タブをクリックします。
5. 必要なファイルを参照し、矢印アイコンをクリックし、次のいずれかをクリックします。
 - **[認証の確認]**: ファイルセキュリティに関する詳細情報を含む証明書が Web ブラウザで表示されます。
 - **[検証]**: Acronis True Image 2019 はファイルの信頼性を検証します。

ファイル検証ツールを使用してファイルの信頼性を検証するには、次の手順に従います。

1. 次のいずれかの方法で、ファイル検証ツールを起動します。
 - Web ブラウザで、<https://notary.acronis.com/verify> を開きます。
 - Acronis True Image 2019 のサイドバーの **[バックアップ]** をクリックし、認証バックアップを選択し、右側のパネルで **[ファイル検証ツールを起動する]** をクリックします。
2. Finder で検証するファイルを参照し、そのファイルを Web ブラウザウィンドウにドラッグします。

公証されたバックアップが Acronis Cloud に格納されている場合は、バックアップファイルの非改ざん性を Acronis Cloud Web アプリケーションで検証することもできます。

Acronis Cloud でファイルの非改ざん性を検証する手順は、次のとおりです。

1. <https://www.acronis.com/my/online-backup/webrestore/> に移動し、Acronis アカウントにログインします。

2. **[ファイル]** タブで必要なファイルを参照し、ファイル名をポイントして **[証明書を表示]** アイコンまたは **[検証]** アイコンをクリックします。上記のコマンドの説明を参照してください。

2.5.3 ファイルの信頼性の手動検証

ファイルの信頼性を検証する最も簡単な方法は、Acronis True Image 2019 または Acronis Cloud ウェブアプリケーションの **[検証]** コマンドを使用することです。詳細については、「ファイルの信頼性の検証 『34ページ』」を参照してください。この簡単な方法に加え、ユーザーが自分で検証手順を段階的に実行することもできます。

ファイルの信頼性を手動で検証する手順:

手順 1. ファイルの MD5 ハッシュを計算する

1. ターミナルを開きます。
2. たとえば、picture.png ファイルの md5 ハッシュを計算するには、次のように入力します。

```
$ md5 'picture.png'
```

md5 ハッシュの例: eea16ade1edf2750a46bb6bffb2e45a2

3. 計算した md5 ハッシュが認証証明書のデータフィールドの eTag に一致することを確認します。ファイル証明書の取得の詳細については、「ファイルの信頼性の検証 『34ページ』」を参照してください。

手順 2. ROOT がブロックチェーンに保存されていることを確認する

1. ブロックチェーンエクスプローラ（たとえば <https://etherscan.io/>）を開きます。
2. 証明書の TRANSACTION ID を検索フィールドに入力します。
3. [イベントログ] タブの [データ] フィールドが証明書の ROOT 値と同等であることを確認します。

手順 3. ハッシュがツリーに含まれていることを確認する

1. コマンドラインユーティリティを GitHub リポジトリ <https://github.com/acronis/notary-verifyhash/releases> からダウンロードします。
2. <https://github.com/acronis/notary-verifyhash> の指示に従います。

2.6 モバイルデバイスのバックアップ

iOS または Android のスマートフォンがあれば、Acronis True Image 2019 を使用して、写真、ビデオファイル、連絡先、カレンダーなどのモバイルデータを保護できます。詳細については、Acronis Mobile ドキュメントを参照してください。

コンピュータ上のローカルストレージにモバイルデータをバックアップする手順:

1. 次を確認してください。
 - Acronis True Image 2017 以降のバージョンがコンピュータにインストールされている。
 - モバイルデバイスに Acronis Mobile アプリをインストールします。
 - モバイルデバイスとコンピュータが同一の Wi-Fi ネットワークに接続している。
2. コンピュータで次の手順を実行します。
 1. Acronis True Image 2017 以降のバージョンを起動します。
 2. サイドバーの **【バックアップ】** をクリックして、**【バックアップの追加】** をクリックします。
 3. **【バックアップ対象】** 領域をクリックし、**【モバイルデバイス】** を選択します。
QR コードが表示されます。このウィンドウは閉じないでください。
3. モバイルデバイスで次の手順を実行します。
 1. Acronis Mobile を起動します。
 2. プラスアイコンをタップして、バックアップを作成します。モバイルデバイスを初めてバックアップする場合は、このステップが発生しないことに注意してください。
 3. バックアップ先としてコンピュータを選択します。
 4. **【QR コードのスキャン】** をタップし、コンピュータ画面上の QR コードにカメラを向けて、モバイルデバイスがコンピュータに接続されるまで待ちます。
 5. バックアップするデータカテゴリを選択するか、すべてをバックアップする場合は **【確認】** をタップします。
 6. Acronis Mobile の個人データへのアクセスを許可します。

7. (オプションの手順)バックアップを暗号化して保護するためのパスワードを入力します。暗号化しない場合は、**[Skip Encryption (暗号化をスキップ)]** をタップします。

8. **[バックアップを開始]** をタップします。

バックアップ開始後は、コンピュータやモバイルデバイスのどのアプリケーションでも進行状況を確認できますが、エラーおよび警告メッセージが表示されるのはモバイルアプリのみです。

コンピュータの Acronis True Image 2019 と Acronis Mobile アプリは両方とも閉じてかまいません。バックアップはバックグラウンドモードで継続されます。

バックアップが完了すると、コンピュータにデータがアップロードされます。データの変更 (たとえば、新しい写真など) を自動的にバックアップする場合は、**[自動バックアップ]** 設定がオンになっていることを確認します。この設定がオフの場合、新しいデータは **[バックアップ]** をタップするまでバックアップされません。

コンピュータとモバイルデバイス間の接続が、エラーのために失われた可能性があります。接続を復元するには、Acronis True Image のバックアップリストでモバイルバックアップを選択してから、**[再接続]** をクリックし、モバイルデバイスで QR コードをスキャンします。その後は、同じ設定でバックアップが通常通りに続行されます。

2.6.1 Acronis Mobile

お住まいの地域によっては Acronis Cloud を使用できない場合があります。詳細は、<https://kb.acronis.com/content/4541> を参照してください。

Acronis Mobile を使用すれば、データを Acronis Cloud、コンピュータ上のローカルストレージ、または NAS デバイスにバックアップして、データが損失または破損した場合に復元できます。クラウドストレージへのバックアップには Acronis Cloud のサブスクリプションが必要になります。

モバイルアプリはどのようなデバイスをサポートしますか？

Acronis Mobile は、以下のいずれかのオペレーティングシステムを実行するモバイルデバイスにインストールできます。

- iOS 10 以降 (iPhone、iPad、iPod)
- Android 5.0 以降 (スマートフォンのみ)

主な特徴

Acronis Mobile では、以下の操作を行えます。

- 個人データのバックアップ。このデータには、次のものが含まれます。
 - 写真
 - ビデオ
 - 連絡先
 - カレンダー
 - メッセージ (Android のみ)
 - リマインダー (iOS のみ)
- バックアップ保存先として次の場所を選択します。
 - Acronis Cloud
 - PC または Mac 上のローカルストレージ
 - NAS (Synology シリーズ 11~19、QNAP と firmware 4.3.1 以降)
- AES-256 暗号化方式を使用したバックアップの暗号化
- 新しいデータおよび変更済みデータの自動バックアップ
- すべてのモバイルデバイスからのクラウドバックアップへのアクセス、およびクラウドバックアップからのデータの復元

これらのアプリはどこで入手できますか？

Apple App Store または Google Play で、Acronis Mobile の詳細情報を確認してダウンロードすることができます。

- iOS デバイス向け Acronis Mobile:
<https://go.acronis.com/atimobile/download/iOS>
- Android デバイス向け Acronis Mobile:
<https://go.acronis.com/atimobile/download/Android>

2.6.2 モバイルバックアップのローカルのバックアップ先

モバイルデータをコンピュータにバックアップする場合、Acronis True Image によってバックアップがデフォルトのフォルダ（/Library/Application Support/Acronis Mobile Backup Data/acronis-local-data/）に保存されます。デフォルトフォルダを変更する場合、acronis-local-data フォルダは選択した場所に移動されます。すべての新しいモバイルデータは新しい場所にバックアップされます。

注意: すべてのモバイルバックアップは常に同一フォルダに保存され、分割保存されることはありません。

モバイルバックアップのローカルの保存先を変更するには:

1. **[バックアップ]** セクションで、モバイルバックアップを右クリックし、**[移動]** をクリックします。
2. 次に**[場所の選択]** をクリックしてバックアップの新しい保存先を選択します。注意: 選択できるのは内蔵ハードドライブの場所のみです。

新しい場所を最初の場所に変更するには、**[デフォルトにリセット]** をクリックします。

2.7 Facebook アカountのバックアップ

Acronis True Image 2019 を使用すると、写真、投稿、プロフィール情報、およびその他のデータやアクティビティの消失から Facebook アカount全体を保護することができます。アカountのコピーを安全な Acronis Cloud にアップロードして、すべてのデバイスからアクセスできます。アップロードした後、データを参照して、特定のアイテムやアカount全体を復元することができます。

バックアップ対象データ:

- プロファイル
名前、電子メール、誕生日、性別、ウェブサイトなどの基本情報。
- タイムライン
ウォール上の自分の投稿や他の人たちの投稿。
- 写真と動画
自分のアルバムや、タグ付けされた写真や動画。

- イベント
招待されているイベントの説明。
- 「いいね！」を押したページ
「いいね！」を押したページへのリンクと、ページ名および写真。

Acronis Cloud に Facebook アカウントをバックアップする手順:

1. 次のいずれかを実行してオンラインダッシュボードを開きます。
 - <https://cloud.acronis.com> のリンクをクリックします。
 - Acronis True Image 2019 のサイドバーで、**[バックアップ]**、**[バックアップの追加]**、続いて **バックアップ元の領域** をクリックし、**[ソーシャルネットワーク]** を選択します。
2. Acronis のマイアカウントにサインインします。
3. サイドバーで **[リソース]**、続いて **[追加]** をクリックして、**[Facebook]** を選択します。
4. **[Facebook のバックアップ]** をクリックします。
5. Facebook アカウントにログインします。
6. **[OK]** をクリックして、Acronis True Image 2019 が Facebook アカウントの情報にアクセスできるようにします。この情報はバックアップ目的にのみ使用されます。
7. バックアップ対象のアイテムを選択し、バックアップのスケジュールを設定して、バックアップを構成します。バックアップを暗号化してパスワードで保護することもできます (Acronis True Image 2019 以降で使用可能)。終了したら、**[適用]** をクリックします。
8. バックアップを開始するには、**[今すぐ実行]** をクリックします。

2.8 Instagram アカウントのバックアップ

Acronis True Image 2019 を使用して写真やビデオを安全な Acronis Cloud にバックアップし、それらが失われないように Instagram アカウントを保護することができます。投稿は公開された順で保存され、投稿には写真やビデオとその説明、タグ、コメントとライクの数格納されます。Acronis Cloud にアップロードした後、すべてのコンテンツをいつでも

どのデバイスからでも使用できるようになります。投稿を参照して表示し、特定の投稿をダウンロードしたり、すべての動向を同時にダウンロードしたりできます。

注: Instagram では、Instagram アプリケーションへの投稿またはプロフィール情報の復元をサポートしていません。ダウンロードすることだけが可能です。

バックアップ対象データ:

- プロファイル
基本情報（ユーザー名、Web サイト、人物詳細など）。
- 投稿
アカウントで投稿した写真やビデオ、説明、ハッシュタグ、コメントといいねの数。

Acronis Cloud に Instagram アカウントをバックアップする手順:

1. 次のいずれかを実行してオンラインダッシュボードを開きます。
 - <https://cloud.acronis.com> のリンクをクリックします。
 - Acronis True Image 2019 のサイドバーで、**[バックアップ]**、**[バックアップの追加]**、続いて **バックアップ元の領域** をクリックし、**[ソーシャルネットワーク]** を選択します。
2. Acronis のマイアカウントにサインインします。
3. サイドバーで **[リソース]**、続いて **[追加]** をクリックして、**[Instagram]** を選択します。
4. **[Instagram のバックアップ]** をクリックします。
5. メッセージが表示されたら、Instagram アカウントにログインします。
6. **[許可]** をクリックして、Acronis True Image 2019 が Instagram アカウントの情報（メディアやプロフィールの情報）にアクセスできるようにします。この情報はバックアップ目的にのみ使用されます。
7. バックアップのスケジュールを設定して、バックアップを設定します。バックアップを暗号化してパスワードで保護することもできます。終了したら、**[作成]** をクリックします。
8. バックアップを開始するには、**[今すぐ実行]** をクリックします。

2.9 Office 365 データのバックアップ

Office 365 データをバックアップする理由

Microsoft Office 365 for Home はクラウドサービスのセットですが、それでも定期的なバックアップをすればユーザーエラーや意図的な悪意のある操作から保護する追加のレイヤが得られます。Acronis True Image 2019 を使用すれば、安全な Acronis Cloud にバックアップすることにより、Microsoft Outlook メールボックスと Microsoft OneDrive データを保護することができます。Acronis Cloud にアップロードした後、すべてのコンテンツをいつでもどのデバイスからでも使用できるようになります。Office 365 の保持期間が過ぎた後でも、削除したアイテムをバックアップからリカバリすることができます。

Office 365 データのバックアップ

Outlook メールボックスでバックアップ可能なデータ:

- すべてのフォルダ
- 電子メールメッセージ
- 添付ファイル

注意: 共有メールボックスやグループメールボックスはバックアップできません。

OneDrive でバックアップ可能なデータ:

- すべてのファイルとフォルダ

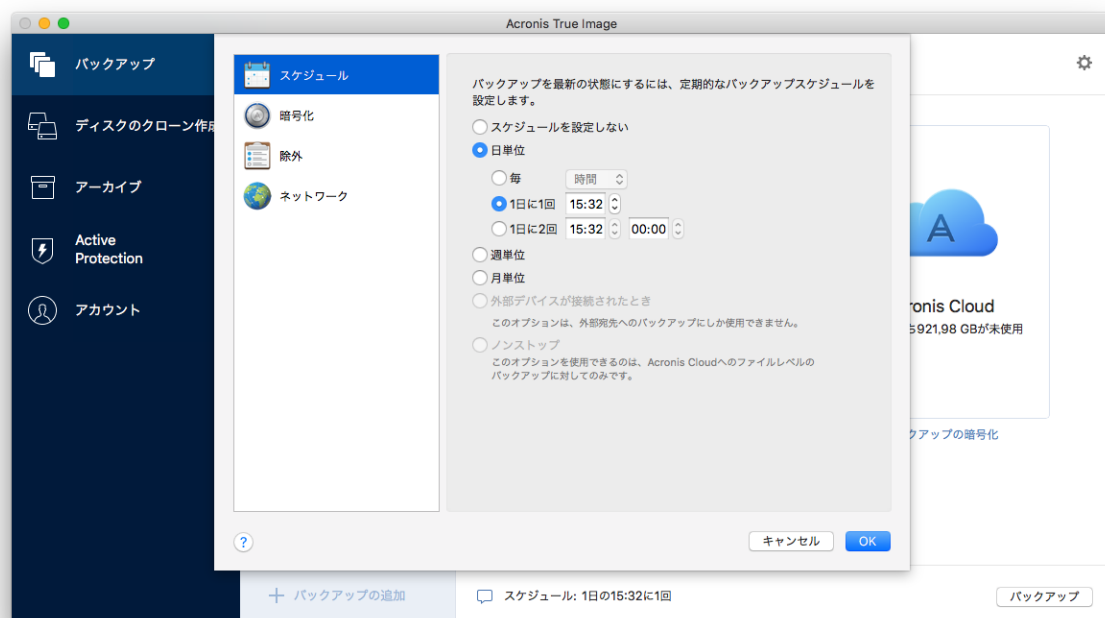
Office 365 データをバックアップするには:

1. 次のいずれかを実行してオンラインダッシュボードを開きます。
 - <https://cloud.acronis.com> のリンクをクリックします。
 - Acronis True Image 2019 のサイドバーで、**[バックアップ]**、**[バックアップの追加]**、**[バックアップ対象]** 領域の順にクリックしてから、**[Cloud サービス]** を選択します。
2. Acronis のマイアカウントにサインインします。
3. サイドバーで、**[リソース]**、**[追加]** の順にクリックしてから、**[Microsoft Office 365 for Home]** を選択します。
4. メッセージが表示されたら、Microsoft アカウントにログインします。

5. **[バックアップ対象]** 領域で、バックアップするアイテムを選択します。
 - アカウント全体
 - Outlook
 - OneDrive
6. **[完了]** をクリックします。
7. **[クリーンアップ]** ペインを介して、バックアップ用のクリーンアップルールを設定できます。バックアップを暗号化してパスワードで保護することもできます。終了したら、**[適用]** をクリックします。
8. バックアップを開始するには、**[今すぐ実行]** をクリックします。

2.10 スケジュール設定

作成したバックアップを実際に役立てるには、可能な限り最新のバックアップを作成しておく必要があります。バックアップを定期的に実行するには、バックアップのスケジュールを作成します。デフォルトでは、Mac は毎日バックアップされます。



バックアップのスケジュールを作成する手順は、次のとおりです。

1. **[設定]** で、バックアップ間隔を選択し、開始時刻を指定します。
 - **スケジュールを設定しない**

このオプションを設定すると、スケジュール設定は無効になります。

- **日単位**

1 日に 1 度または 2 度、指定の時刻または選択した時間間隔でバックアップが開始されます。

- **週単位**

選択した曜日の指定時刻で毎週、バックアップが実行されます。

- **月単位**

選択した日付の指定時刻で毎月、バックアップが実行されます。

- **外付けデバイスが接続されている場合** (外部保存先へのバックアップにのみ使用可能)

USB フラッシュドライブまたは外付け HDD へのバックアップを実行するタスクをスケジュールすると、同じ外付けデバイスが接続されるたびにバックアップが開始されます。そのデバイスでバックアップを 1 日に 1 回だけ実行するには、**[1 日に一度]** チェックボックスをオンにします。

- **ノンストップ** (ファイルレベルのクラウドバックアップに対してのみ使用可能)

最初の完全バックアップには、保護対象として選択したすべてのデータが含まれます。その後、Acronis True Image 2019 が保護対象のファイル (開いているファイルを含む) を継続的にモニタします。変更が検出されると、変更されたデータがバックアップされます。増分バックアップ処理の最短間隔は 5 分です。この機能によって、指定した時間の状態にデータを復元することが可能になります。

2. すべての設定が完了したら、**[OK]** をクリックします。

スケジュールが設定された時刻に Mac の電源が切れている、または Mac がスリープモードになっている場合は、次に Mac を起動、またはスリープを解除したときにバックアップが実行されます。

2.11 バックアップの暗号化

バックアップされたデータを不正アクセスから保護するために、バックアップを業界標準の AES (Advanced Encryption Standard) 暗号化アルゴリズムで 256 ビットの長さのキーを使用して暗号化できます。

注意:既存のバックアップのバックアップ暗号化オプションを設定または変更することはできません。

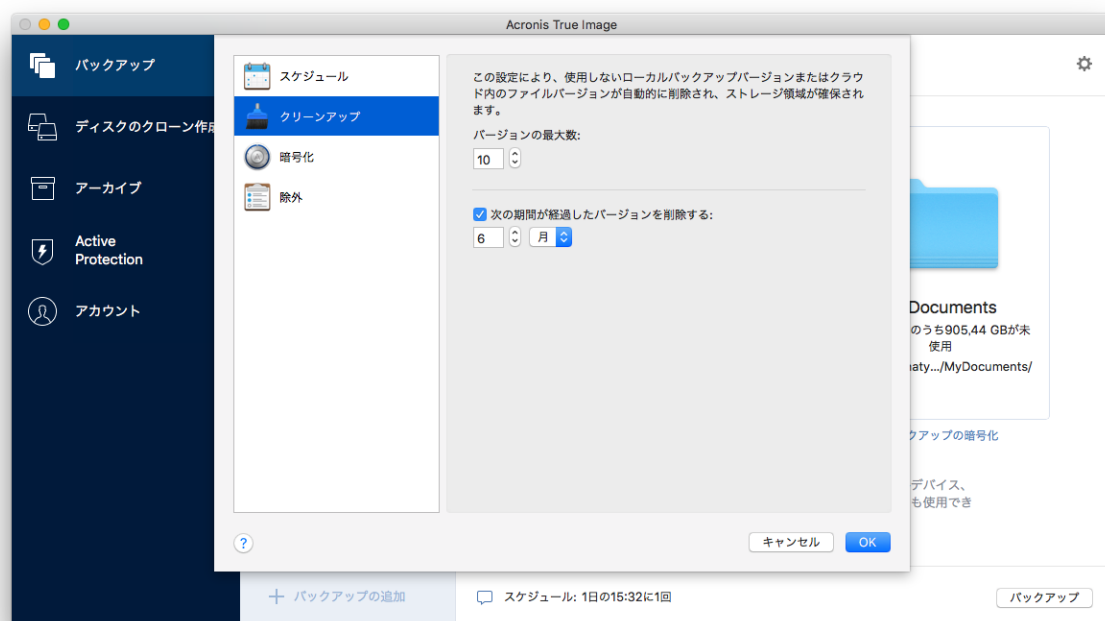
バックアップを暗号化する手順は、次のとおりです。

1. 最初にバックアップ処理を設定する際に、**[設定]** アイコンをクリックして、**[暗号化]** をクリックします。
2. バックアップ用のパスワードを対応するフィールドに入力し、**[OK]** をクリックします。

パスワードはできる限り想像しにくいものにするため、8 文字以上の、アルファベット（大文字と小文字の両方を使用することが望ましい）と数字を含むものにしてください。パスワードを取得することはできません。バックアップの保護に指定したパスワードは記憶してください。

2.12 バックアップ保持ルール

手動またはスケジュールでバックアップ処理が実行されるたびに、Acronis True Image 2019 ではバックアップの保存先に新しいバックアップバージョンが作成されます。デフォルトでは、Acronis True Image 2019 は最新の 20 個のバージョンを保存します。このルールは、Acronis Cloud、およびローカルやネットワークのフォルダの両方に適用されます。21 個目のバージョンを作成するときに、Acronis True Image 2019 によってバックアップの最も古いバージョンが自動的に削除されます。デフォルト値を変更して、バックアップバージョンの数に異なる制限を設定できます。



バージョンの数に加えて、バージョンの保存期間も制限できます。**[次の期間を超えたバージョンを削除する]** チェックボックスをオンにし、バージョンを保管する期間を指定します。指定した期間を超過したバージョンは、すべて自動的に削除されます。

ノンストップバックアップの保持ルール

Acronis Cloud にファイルとフォルダのバックアップをするとき、ノンストップスケジュールの設定ができます。詳細については、「スケジュール設定 『43ページ 』」を参照してください。

Acronis True Image 2019 はバックエンドデータを永続的に監視し、Acronis Cloud への変更をアップロードするため、バックアップでストレージ領域がすぐに消費される場合があります。バックアップバージョンの数を減らし、クラウド領域の消費を最適化するために、Acronis True Image 2019 では以下のバックアップバージョンだけが保持されます。

- 過去 1 時間のすべてのバージョン
- 過去 24 時間の 1 時間ごとの最初のバージョン
- 前の週の各日の最初のバージョン
- 前の月の週ごとの最初のバージョン
- 各月の最初のバージョン

他のすべてのバージョンは自動的に削除されます。保持ルールはあらかじめ設定されており、変更することはできません。

2.13 既存のバックアップをリストに追加する

Acronis True Image 2019 バックアップを過去の製品バージョンで作成したり、他のコンピュータからコピーした場合、Acronis True Image 2019 を起動するたびに、このようなバックアップに対してコンピュータがスキャンされたり、自動的にバックアップリストに追加されたりします。

リストに表示されないバックアップについては、手動で追加することができます。

バックアップを手動で追加するには:

1. **[ファイル]** メニューで **[既存のバックアップを追加]** をポイントします。ウィンドウが開き、コンピュータ上に存在するバックアップを参照できます。
Spotlight を使用して .tib ファイルから検索することもできます。
2. バックアップバージョン (.tib ファイル)を選択します。バックアップ全体がリストに追加されます。

一覧のすべてのバックアップからデータを復元できます。また、同じ Mac で作成されたバックアップを再構成できます。

バックアップを再構成する手順は、次のとおりです。

1. バックアップソースのアイコンをクリックして、バックアップするデータを選択します。
2. (オプションの手順)バックアップを定期的に行うには、バックアップのスケジュールを設定します。
3. バックアップを開始するには、**[バックアップ]** をクリックします。

注意:一覧でローカルバックアップを非表示にするには、非表示にするローカルバックアップを右クリックし、**[リストに非表示にする]** をクリックします。非表示にしたバックアップは、再び手動で追加するまでは操作できません。

2.14 バックアップからの項目の除外

バックアップを開始する前に、バックアップする必要のないデータを除外することでバックアップサイズを縮小できます。

ファイルやフォルダを次の方法で除外することができます。

- **手動 (すべてのバックアップから)**

項目を除外するには、該当のファイルを明確に指定するか、マスクを使用します。

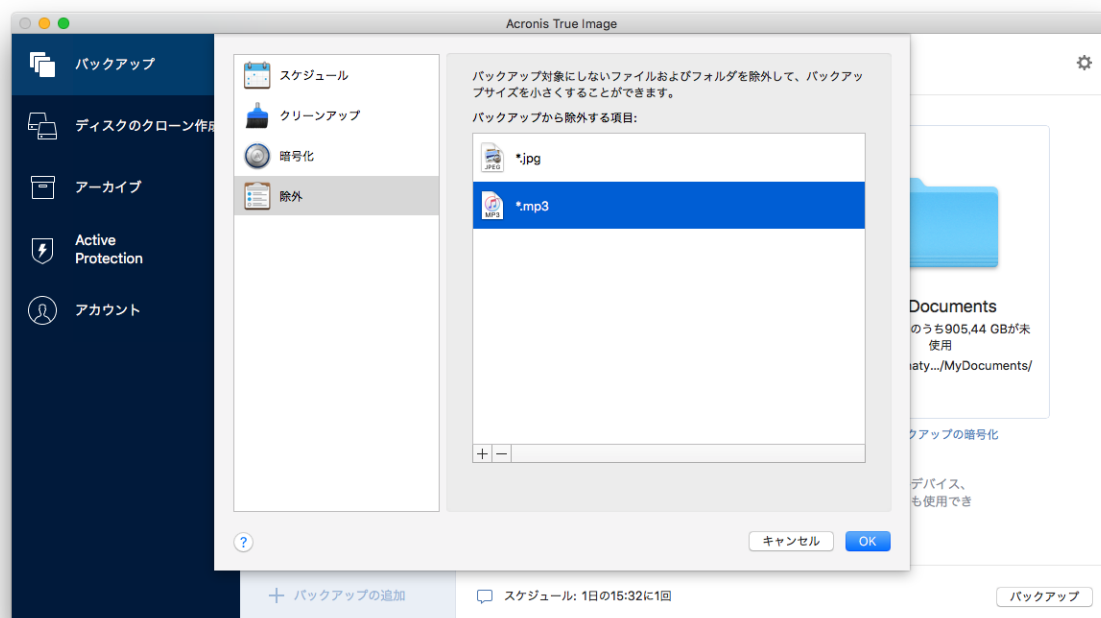
- **自動 (バックアップから Acronis Cloud へ)**

Acronis True Image 2019 によってバックアップソースが分析され、サードパーティ製のクラウドストレージからダウンロード可能なローカルデータを除外するように推奨されます。

手動で項目を除外する

手動でファイルやフォルダを除外するには、次の操作を実行します。

1. バックアップの設定時に、**[設定]** をクリックして、**[除外]** をクリックします。



2. プラス記号をクリックして、次のいずれかをクリックします。

- **特定のファイルまたはフォルダを除外する**

除外する項目を参照して選択し、**[除外]** をクリックします。

- **マスクごとに除外する**

ワイルドカード文字 (* および ?)を使用して除外マスクを入力し、**[除外]** をクリックします。

除外マスクの例:

- *.ext: .ext の拡張子を持つすべてのファイルが除外されます。
- ??name.ext: 拡張子が .ext のファイルで、合計 6 文字 (最初の 2 文字が任意の文字 (??)で、残りの部分が name)のファイル名を持つすべてのファイルが除外されます。

3. **[デジタル署名されたファイルは認証しない]** チェックボックスをオンまたはオフにします (認証バックアップの場合にのみ使用できます)。

認証バックアップの主な目的は、個人ファイルを保護することです。そのため、デジタル認証されたシステムファイル、アプリケーションファイル、その他のファイルをバックアップする必要はありません。これらのファイルを除外するには、対応するチェックボックスをオンにします。

4. **[OK]** をクリックします。

リカバリ可能なデータをオンラインバックアップから除外

Acronis True Image 2019 では、Google Drive や Dropbox などのサードパーティ製クラウドサービスにアップロード済みまたは同期済みのローカルデータを除外することができます。このデータは既に確実に保護されており、コンピュータへのダウンロードも簡単に実行できます。そのため、Acronis Cloud へのアップロードは不要になりました。これらのデータを除外してバックアップサイズを縮小し、バックアップ処理の速度を向上させることができます。

次のサービスで保護されているデータを除外できます。

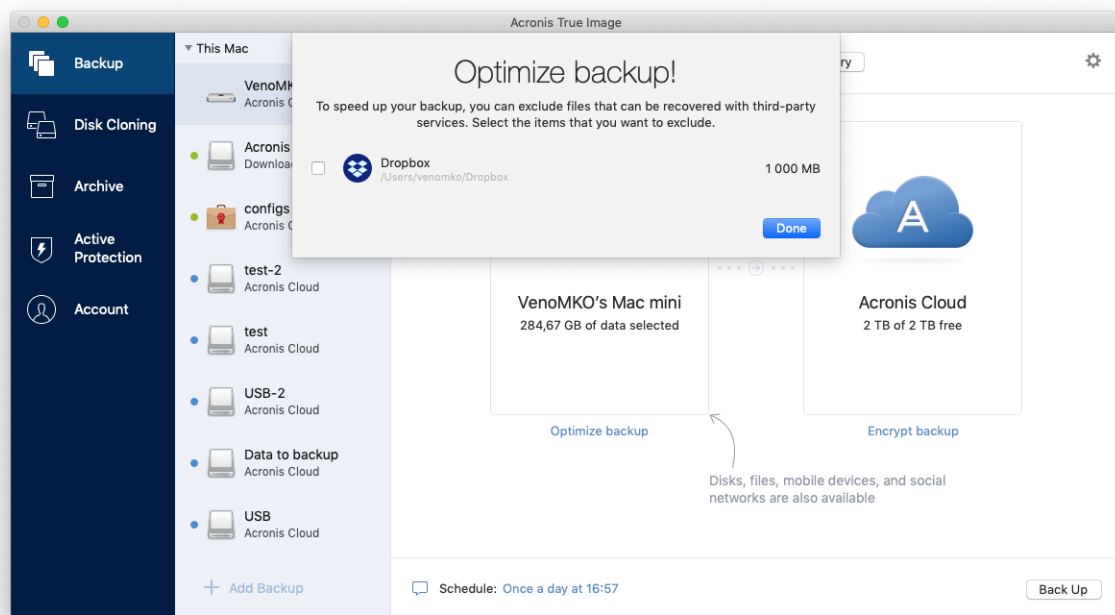
- iTunes
- Dropbox
- Microsoft OneDrive
- Google Drive
- BoxSync
- Yandex.Disk
- SugarSync

次の条件を満たしている場合にのみ、Acronis True Image 2019 によってデータの除外が推奨されます。

- サードパーティ製のサービスが現在有効化されている。
- 対応するフォルダに 250 MB を超えるデータが保存されている。

バックアップから項目を除外するには、次の操作を実行します。

1. バックアップ処理を開始する前に、バックアップソースのアイコンの下にある **[バックアップの最適化]** をクリックします。



2. 除外する項目の横にあるチェックボックスをオフにして、**[終了]** をクリックします。

2.15 接続設定

ネットワーク上のコンピュータまたは NAS デバイスに接続する場合、通常、ネットワーク上の場所にアクセスするために必要なログイン情報を入力する必要があります。たとえば、バックアップの保存先を選択する際にこの操作が必要になることがあります。その場所に対する資格情報が変更された場合は、バックアップの設定で手動で資格情報を修正する必要があります。修正しなければ、以降のバックアップ操作はすべて失敗します。

ネットワーク上の場所に対する資格情報を変更するには

1. Acronis True Image 2019 を起動します。
2. **[バックアップ]** セクションで、バックアップ元またはバックアップ先としてネットワーク上の場所が設定されているバックアップを選択します。
3. 歯車アイコンをクリックして、バックアップの設定を表示します。
4. **[接続]** セクションで、そのネットワーク上の場所にアクセスするためのユーザー名とパスワードを指定します。

5. (オプションの手順)[**接続のテスト**] をクリックします。

接続が確立されると、資格情報が修正されます。

6. 変更を適用するには、[**OK**] をクリックします。

2.16 バックアップのネットワーク設定

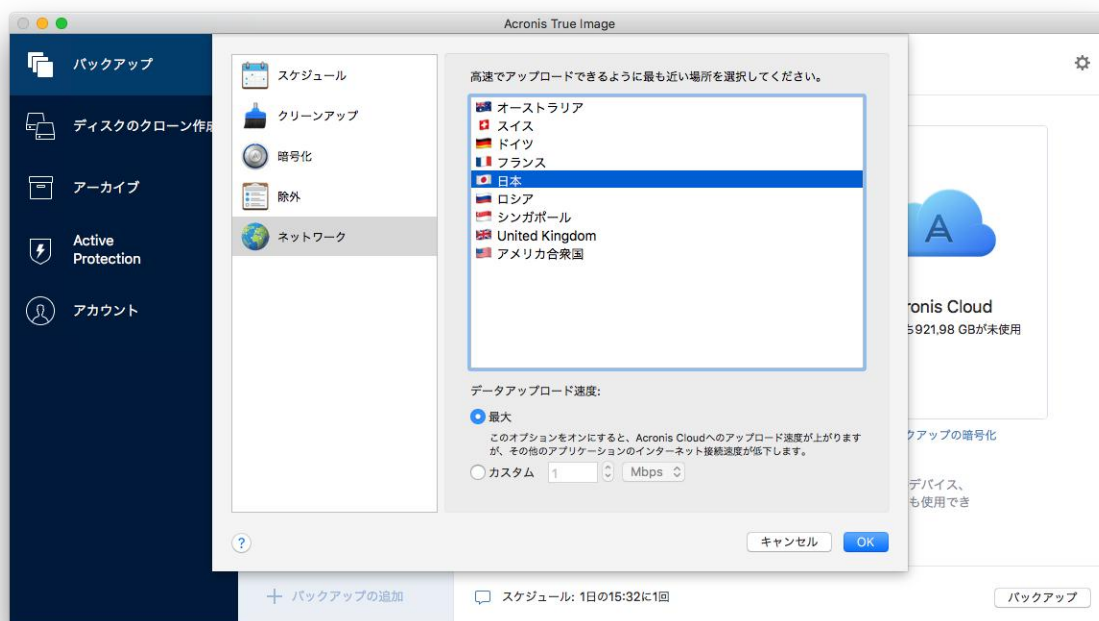
Acronis Cloud にバックアップを作成すると、各国の Acronis データセンターの 1 つにデータがアップロードされます。はじめに、データセンターは、Acronis アカウントの作成時の場所に最も近い場所が指定されます。それ以降は、デフォルトの場合、オンラインバックアップや同期済みファイルは同じデータセンターに保存されます。

他の国に居住している場合、またはデフォルトのデータセンターが現在地から最も近い場所ではない場合、バックアップ用のデータセンターを手動で設定することをお勧めします。データアップロード速度を大幅に高めることができます。

注意: 既存のバックアップに対しては、データセンターを変更できません。

データセンターを選択するには、次の手順を実行します。

1. オンラインバックアップの設定時に、[**設定**] をクリックして、[**ネットワーク**] をクリックします。



2. 現在地から最も近い国を選択し、[OK] をクリックします。

データのアップロード速度

Acronis Cloud にデータをバックアップする場合、Acronis True Image 2019 の接続速度を変更できます。速度の低下を気にすることなくインターネットやネットワークリソースを使用できる接続速度を設定します。

接続速度を設定する場合は、次のいずれかのオプションを選択します。

- **最大**

データ転送速度は、システム構成の最大値になります。

- **カスタム**

データのアップロード速度の最大値を指定できます。

2.17 バックアップアクティビティと統計

バックアップ履歴やバックアップに含まれているファイルの種類などのバックアップに関する追加情報を、[アクティビティ] タブと [バックアップ] タブに表示することができます。[アクティビティ] タブには、選択したバックアップに対して実行された操作（その作成から）のリスト、操作状況、統計が含まれています。これは、バックアップモードでバックアップに何が生じていたかを突き止める必要があるときに便利です。たとえば、スケジュールされたバックアップ操作の数や状況、バックアップデータのサイズ、バックアップ検証の結果などです。

バックアップの最初のバージョンを作成するときに、[バックアップ] タブに、バックアップコンテンツがファイルの種類ごとに図表形式で表示されます。

[アクティビティ] タブ

ノンストップバックアップとモバイルバックアップには、アクティビティのフィードがありません。

バックアップアクティビティを表示する手順は、次のとおりです。

1. サイドバーで [バックアップ] をクリックします。
2. バックアップリストで、履歴を表示するバックアップを選択します。

3. 右側のペインで、**[アクティビティ]** をクリックします。

✔ 正常にバックアップされました 2017/07/19 11:13				
バックアップ済み	速度	経過時間	復元対象のデータ	種類
665 MB	185.6 Mbps	31秒	664.4 MB	完全

表示対象と分析対象:

- バックアップ操作とその状況（正常、失敗、キャンセル、中断など）
- バックアップに対して実行された操作とその状況
- エラーメッセージ
- **バックアップのコメント**
- バックアップ操作の詳細。これには、次のものが含まれます。
 - **バックアップ済み**—バックアップデータのサイズ（圧縮データ）。
 - **速度**—バックアップ操作の速度。
 - **経過時間**—バックアップ操作にかかった時間。
 - **復元対象のデータ**—データの初期サイズ（非圧縮データ）。
 - **種類**—バックアップ操作の方法（完全、増分）。

詳細については、ナレッジベース <https://kb.acronis.com/content/60104> を参照してください。

[バックアップ] タブ

バックアップを作成するときに、各種のバックアップファイルの統計を表示することができます。



カラーセグメントをポイントして、ファイルの数と各データカテゴリの合計サイズを表示します。

- ピクチャ
- ビデオファイル

- オーディオファイル
- ドキュメント
- システムファイル
- 隠しシステムファイルを含む、他のファイルタイプ

データサイズに関する情報:

- **[復元するデータ]** – バックアップ対象として選択した元のデータのサイズ。

2.18 ラップトップ電源の設定

この設定は、バッテリーを搭載したコンピュータ（ラップトップ、UPS に接続されたコンピュータ）でのみ使用できます。

ラップトップで作業するときに電源が周りにない場合や、コンピュータが停電後に UPS に切り替えられている場合は、バッテリー電源を節約することをお勧めします。バックアップを長時間実行すると、バッテリーの電源が非常に速く消耗する可能性があります。たとえば、大量のデータをクラウドにバックアップするような場合です。

バッテリーの充電を節約する手順は、次のとおりです。

- **[Acronis True Image] メニューで、[基本設定] をクリックし、[バッテリー電源での作業中はバックアップを行わない] チェックボックスをオンにします。**

この設定がオンになっている場合、ラップトップ電源アダプタを取り外すか、停電後にコンピュータに UPS を使用すると、現在のバックアップがすべて一時停止し、スケジュールされたバックアップは開始されなくなります。電源アダプタを取り付けなおすか、電源が復旧すると、一時停止されていたバックアップが再開されます。この設定のために実行されていなかったスケジュール済みバックアップも開始されます。

この設定は、バックアップ機能を完全にはブロックしません。いつでもバックアップを手動で開始できます。

ローカルモバイルバックアップは、この設定の影響を受けません。モバイルデータは、通常どおりコンピュータ上のローカルストレージにバックアップされます。

2.19 通知

製品内通知

OS X 通知センターで Acronis True Image 2019 通知を複製し、Acronis True Image 2019 コンソールを開かずに通常の場所でその通知を表示することができます。

製品内通知を通知センターで複製する手順は、次のとおりです。

- **[Acronis True Image]** メニューで、**[基本設定]** をクリックし、**[通知センターに通知を表示する]** チェックボックスをオンにします。

電子メールによるバックアップステータスの通知

バックアップの完了を待てない場合、またはスケジュールされたバックアップを追跡する場合は、お使いの電子メールアドレスでバックアップステータスのレポートを受け取ると便利です。これを使用すると、コンピュータの近くにいない場合でも、バックアップで何らかの問題が生じた場合にすぐに通知を受け取ることができます。

メール通知を設定する手順は、次のとおりです。

1. **[Acronis True Image]** メニューで、**[アカウント]** > **[電子メールによる通知の設定]** をクリックします。

オンラインダッシュボードの **[電子メールによる通知]** ページが Web ブラウザに開きます。

2. 受信するメッセージの種類を選択します。
3. 通知の送信先電子メールアドレスを入力します。
4. 次の変数を使用して、メッセージの件名テンプレートを入力します。

- **[コンピュータ名]**
- **[処理ステータス]**
- **[バックアップ名]**

たとえば、バックアップレポート: **[バックアップ名]** - **[コンピュータ名]** の **[処理ステータス]**

5. **[保存]** をクリックします。

2.20 Acronis Cloud とは

リモートストレージ

Acronis Cloud は、バックアップとアーカイブを保存するために使用できる安全なリモートストレージです。ファイルはリモート ストレージに保存されているため、災害やデータ破損が発生した場合、Mac 全体の内容をリカバリできます。

Acronis True Image for Windows をご使用の場合は、ファイル バックアップ、ディスク イメージ、Acronis Cloud に同期済みのファイルのバージョンを保存することもできます。

Acronis Cloud の使用を開始する手順は、次のとおりです。

1. Acronis True Image 2019 を起動します。
2. アカウントがない場合は、Acronis アカウントを作成します 『57ページ』。
3. **[ファイル]** メニューで、**[Acronis Cloud Storage]** をポイントし、**[試用を開始]** または **[サブスクリプションの購入]** をクリックします。

ウェブ アプリケーション

また、Acronis Cloud は、Acronis Cloud に保存したデータのリカバリと管理に使用できるウェブ アプリケーションでもあります。インターネットに接続されている Mac または PC を使用してアプリケーションを操作することができます。

アプリケーションを使用するには、<https://www.acronis.co.jp/my/online-backup/> にアクセスし、アカウントにログインして、**[データを今すぐリカバリする]** をクリックします。

2.20.1 Acronis アカウントの作成

Acronis Cloud サービスを使用するには、Acronis アカウントが必要です。

Acronis アカウントを作成する手順は、次のとおりです。

1. Acronis True Image 2019 を起動します。
2. バックアップの保存先として Acronis Cloud を選択します。ログイン ウィンドウが開きます。
3. **[アカウントの作成]** をクリックします。

4. 登録フォームに入力します。

個人データを安全に維持するために、アカウント用の強力なパスワードを選択して、悪意のある第三者に知られないように保護し、時々変更してください。

5. **[アカウントの作成]** をクリックします。

6. 登録した電子メール アドレスにメッセージが送信されます。このメッセージを開き、アカウントの作成を確認して登録を完了します。

2.20.2 Acronis Cloud のサブスクリプション

Acronis Cloud を使用する Acronis True Image 2019 機能（オンラインバックアップ、クラウドアーカイブ、データ同期など）を使用する場合は、Acronis Cloud Storage へのサブスクリプションが必要です。サブスクリプションを申し込むには、まず Acronis True Image 2019 を起動し、**[ファイル]** メニューに移動します。次に **[Acronis Cloud Storage]** をポイントし、試用版のサブスクリプションを開始するか、製品版のサブスクリプションを購入するかを選択します。

Acronis Cloud は、公正使用ポリシーの対象になります。詳細については、次の記事を参照してください。 <https://kb.acronis.com/atih2019/fairusage>。

試用版

試用版を有効化すると、マイアカウントに Acronis Cloud の 1,000GB のストレージと 30 日間の無料サブスクリプションが自動的に割り当てられます。試用版のサブスクリプションの期限が切れた後 30 日間、Acronis Cloud はリカバリ専用モードで動作します。この期間が過ぎると Acronis Cloud サービスは利用できなくなり、Cloud のデータはすべて削除されます。

製品版

製品版の Acronis Cloud Storage を購入する手順:

1. Acronis True Image 2019 を起動します。
2. **[ファイル]** メニューで、**[Acronis Cloud Storage]** をポイントし、**[サブスクリプションの購入]** をクリックします。
3. 画面の指示に従って購入手続きを進めます。

Acronis ウェブサイトで製品版のサブスクリプションを購入することもできます。

2.21 Parallels Desktop のサポート

Parallels Desktop とは

Parallels Desktop とは、特別な仮想環境を使用することで、Mac 上で別のオペレーティングシステムを実行できるアプリケーションです。通常は Windows を実行するために使用されますが、Mac OS X、Linux、Google Chrome OS などのオペレーティングシステムを実行することもできます。詳細については、Parallels の Web サイト

(<https://www.parallels.com/jp/products/desktop/>)を参照してください。

Acronis True Image 2019ではParallels Desktop仮想マシンがどのように処理されるのですか？

Acronis True Image 2019 は、Parallels Desktop 14 で作成された仮想マシンを完全にサポートします。Mac のバックアップ時に仮想マシンもバックアップされます。Mac の復元時に、仮想マシンがバックアップ開始時の状態に戻ります。復元後も、仮想マシンはすべて一貫性を維持し、起動可能です。

どのように動作しますか？

バックアップを実行するたびに、Acronis True Image 2019 はバックアップ対象として選択されたディスクまたはフォルダに保存されているすべての Parallels Desktop 仮想マシンのスナップショットを作成します。これらのスナップショットは、Mac の復元時にタイムポイントとして使用されます。作成済みのスナップショットがバックアップ内に保存されると、スナップショットは Mac から自動的に削除されます。

どの仮想マシンがバックアップされますか？

Acronis True Image 2019 は、次の仮想マシンをすべてバックアップします。

- バックアップされているディスクに保存されている仮想マシン
- Parallels Desktop アプリケーションに追加されている仮想マシン
- 現在実行中、停止中、および一時停止中の仮想マシン

仮想マシンをリカバリするにはどうすればよいですか？

仮想マシンが Parallels Desktop 14 で作成されている場合、復元されるすべての仮想マシンはリカバリ後にブートされます。以前のバージョンの Parallel Desktop をお使いの場合は、recreate_pd_hdd.sh スクリプトを実行して、リカバリした仮想マシンをブータブルにする必要があります。

Acronis True Image 2017 以降、このスクリプトは製品に同梱されており、
/Applications/Acronis True Image.app/Contents/MacOS/recreate_pd_hdd.sh に置かれています。以前のバージョンをお使いの場合は、
https://kb.acronis.com/system/files/content/2016/08/49198/recreate_pd_hdd.zip
からスクリプトをダウンロードしてください。

スクリプトを実行するには次のようにします。

1. スクリプトの.zip ファイルを解凍します。
2. ターミナルを開きます。
3. 次のように入力します。bash "[script_path]" "[vm_path]"
 - [script_path]はスクリプト ファイルのパスです。
 - [vm_path]はフォルダのパスです。復元される仮想マシンはこの場所に置かれます。

たとえば、次のような場合が考えられます。

```
bash "/Applications/Acronis True Image.app/Contents/MacOS/recreate_pd_hdd.sh"  
"/Users/John/Downloads/My Windows Virtual Machine.pvm"
```

注意: PD マシンは新しい仮想マシンとして復元し、以前のものを上書きしないようにすることをお勧めします。

制限事項

Boot Camp パーティションを使用して Parallels Desktop 仮想マシンを構成している場合、次の制限事項に注意してください。

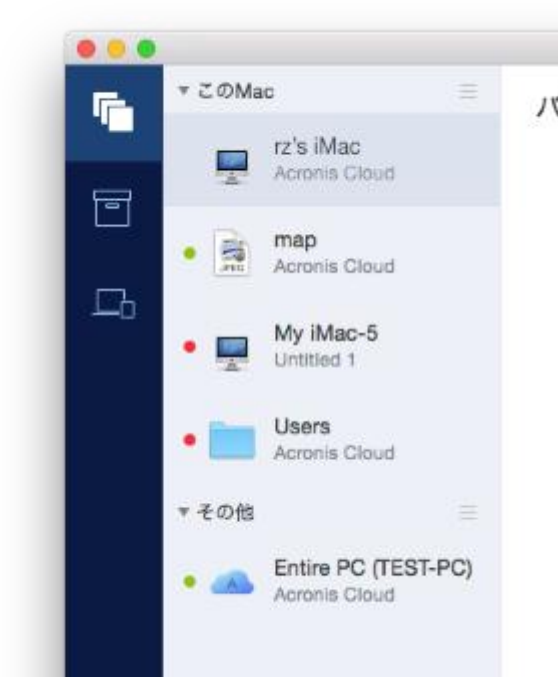
- 仮想マシンが実行中の場合、Boot Camp パーティションのバックアップはほとんどのケースで失敗します。
- 仮想マシンが一時停止中の場合、Boot Camp パーティションのバックアップは成功しますが、バックアップからの復元はほとんどのケースで失敗します。

- 仮想マシンが一時停止中の場合、Boot Camp パーティションへの復元は失敗します。かわりに、Boot Camp パーティションを削除して、これをバックアップから未割り当て領域に復元します。




2.22 バックアップリストアイコン


バックアップリストで作業している間は特別なアイコンが表示されます。各アイコンは次の情報を示します。

- バックアップの種類
- バックアップの現在の状態









バックアップの種類アイコン:

アイコン	説明
	Mac 全体のバックアップ 注意: このアイコン表示は Mac の種類により異なります。
	ディスクレベルのバックアップ
	フォルダまたは複数のファイルからなるファイルレベルのバックアップ

アイコン	説明
	単一のファイルからなるファイルレベルのバックアップ

バックアップの状態表示:

アイコン	説明
	バックアップが正常に完了しました。
	バックアップはキューに入れられています。
 (点滅)	バックアップが進行中です。
	バックアップはユーザーにより一時停止されました。
	前回のバックアップに失敗しました。
	バックアップは警告を伴って完了しました。

2.23 リスト内でのバックアップの並べ替え

デフォルトでは、バックアップは作成日の新しい順に並べ替えられます。順序を変更するには、バックアップリストの上部にある並べ替えの種類から適切なものを選択します。次の選択肢があります。

コマンド		説明
	名前	このコマンドは、すべてのバックアップをアルファベット順に並べ替えます。 順序を逆にするには、 [Z→A] を選択します。
	作成日	このコマンドは、すべてのバックアップを新しい順に並べ替えます。 順序を逆にするには、 [古い順] を選択します。

コマンド		説明
並べ替え 基準	アップデート日	<p>このコマンドは、すべてのバックアップを最新の日付順に並べ替えます。バックアップバージョンが新しいほど、リストの上位に配置されます。</p> <p>順序を逆にするには、[参照頻度の低い順] を選択します。</p>
	サイズ	<p>このコマンドは、すべてのバックアップをサイズの大きい順に並べ替えます。</p> <p>順序を逆にするには、[小さい順] を選択します。</p>
	対象の種類	<p>このコマンドは、すべてのバックアップを対象の種類ごとに並べ替えます。PC 全体のバックアップ、ディスクのバックアップ、ファイルのバックアップ、ノンストップバックアップの順になります。</p>
	保存先の種類	<p>このコマンドは、すべてのバックアップを保存先の種類ごとに並べ替えます。内蔵ディスクドライブ、外付けディスクドライブ、NAS デバイス、ネットワーク共有、Acronis Cloud の順になります。</p>

3 レスキューメディアの作成

セクションの内容

ブータブルメディアの作成.....	64
Acronis Survival Kit の作成	66

3.1 ブータブルメディアの作成

ブータブルメディアとは、ブートファイルが格納されているリムーバブルドライブです。

Mac が起動しない場合は、ドライブを使用して Acronis リカバリ環境を起動し、作成済みのバックアップから Mac をリカバリします。

まだバックアップを用意していない場合は作成してください。詳細については、「ローカルストレージまたはネットワーク ストレージへのバックアップ 『24ページ 』」および「Acronis Cloud へのバックアップ 『27ページ 』」を参照してください。

 ブータブル メディアを使用することが、Acronis True Image 2019 のバックアップから Mac をリカバリする唯一の方法です。

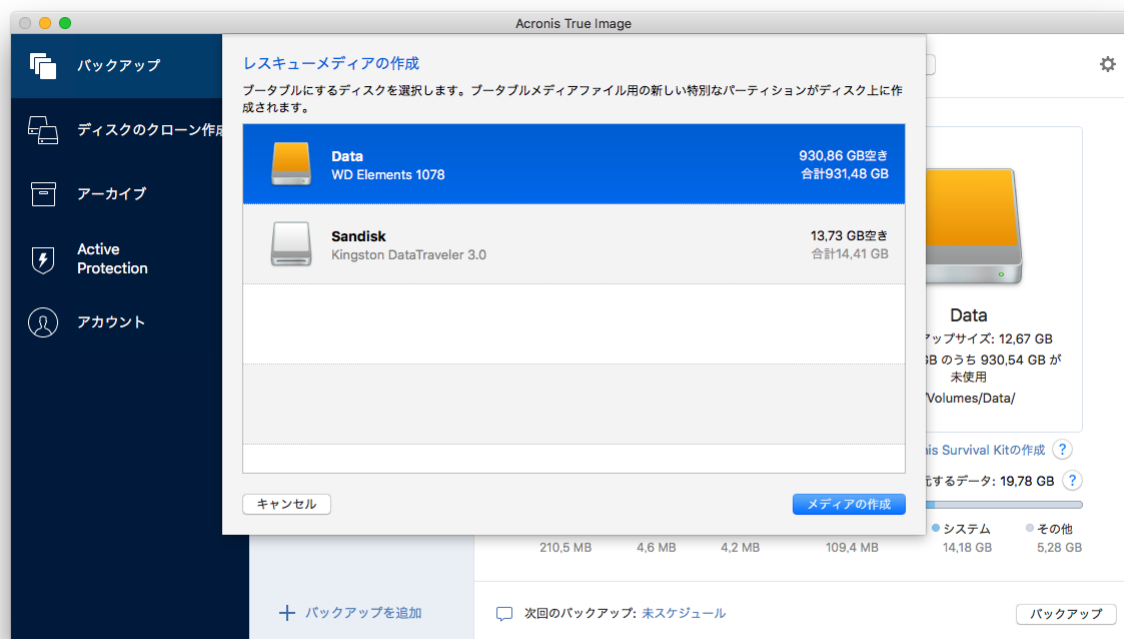
Acronis ブータブルメディアを作成する手順は、次のとおりです。

1. Mac にリムーバブル ドライブを接続します。

ドライブには 4 GB（またはそれ以上）の空き容量が必要です。具体的には、外付けハードディスク ドライブや USB フラッシュ ドライブを使用することができます。ドライブは Mac OS 拡張ファイルシステムを使用してフォーマットされます。CD および DVD メディアはサポートされていないのでご注意ください。

2. Acronis True Image 2019 を起動します。
3. **[ファイル]** メニューの **[ブータブル メディアの作成]** をクリックします。[Acronis メディア ビルダ] ウィンドウが開きます。

4. ブータブルにするドライブを選択します。



5. [メディアの作成] をクリックします。

Acronis True Image 2019 は選択されたドライブに小さなパーティションを作成して、そこにブート ファイルを書き込みます。これを作成するために、既存のボリュームのいずれかのサイズが変更されます。ディスクが GPT ではなく、Mac OS 拡張または APFS とは異なるファイル システムである場合、Acronis True Image 2019 はディスクのフォーマットを推奨します。ディスクをフォーマットすると、そのディスクに保存されているすべてのデータが消去されることに注意してください。

6. 処理が完了したら、メディアを取り外して安全な場所で保管します。メディアにデータを保存することはできますが、Acronis ブート ファイルは削除したり変更しないようにしてください。

Mac OS X を新しいバージョンにアップグレードするたびに、新しいブータブルメディアを作成することをお勧めします。作成しなかった場合、ブータブルメディアが正常に機能しなくなることがあります。

3.2 Acronis Survival Kit の作成

Acronis Survival Kit とは

障害発生時に Mac をリカバリするために必要な 2 つの重要なコンポーネントとして、システムディスクのバックアップとブータブルメディアがあります。ほとんどの場合、これらのコンポーネントは別々に保管されます。たとえば、システム バックアップは外部ドライブまたは Acronis Cloud に置かれ、ブータブル メディアは小さな USB フラッシュ ドライブです。Acronis Survival Kit は、両方のコンポーネントをまとめたもので、障害が発生した場合にコンピュータを復元するために必要なすべてのものを 1 つのデバイスに備えることができます。これは、Acronis ブータブル メディア ファイルと、システム パーティションまたはコンピュータ全体のバックアップが入った外部のハードドライブです。

Acronis Survival Kit のデバイスには、32 GB 以上の容量の、Mac OS 拡張または APFS ファイル システムの外部ハードドライブを使用してください。ドライブが別のファイル システムである場合、Acronis True Image 2019 はドライブのフォーマットを勧めます。

Acronis Survival Kitを作成するにはどうしたらよいですか？

システムまたは Mac 全体のローカル バックアップを設定して、宛先として外部ドライブを選択する場合、Acronis True Image 2019 はこのドライブをブータブルにすることを推奨します。



Acronis Survival Kit を作成するには次のようにします。

1. **[バックアップ]**または**[Acronis Survival Kit の作成]**をクリックします。
2. 表示されたウィンドウで、**[作成]** をクリックします。

Acronis True Image 2019 は選択されたドライブに小さなパーティションを作成して、そこにブート ファイルを書き込みます。これを作成するために、既存のボリュームのいずれかのサイズが変更されます。ディスクが GPT ではなく、Mac OS 拡張または APFS とは異なるファイル システムである場合、Acronis True Image 2019 はディスクのフォーマットを推奨します。ディスクをフォーマットすると、そのディスクに保存されているすべてのデータが消去されることに注意してください。

3. ブート ファイルが正常にドライブに書き込まれると、そのブータブル メディアを使用して、Mac をリカバリすることができます。Acronis Survival Kit の作成を完了するには、システムのバックアップをドライブに保存する必要があります。これを行うには、**[バックアップ]**をクリックします。この手順をスキップする場合、後からこのドライブにシス

テム バックアップを作成することを忘れないでください。詳細については、「ローカルストレージまたはネットワークストレージへのバックアップ 『24ページ 』」を参照してください。

Acronis Survival Kit の準備ができたなら、それを使用して Mac をリカバリできます。詳細については、「Mac のリカバリ 『70ページ 』」を参照してください。

4 リカバリ

セクションの内容

Mac をリカバリするタイミング	69
Mac のリカバリ	70
ファイルの復元	73
任意のデバイスからのクラウドデータの復元	75
Facebook アカウントの復元	76
Instagram アカウントの復元	78
Office 365 データの復元	78
バックアップの内容の検索	80
ファイルリカバリオプション	81

4.1 Mac をリカバリするタイミング

コンピュータが起動しない、または Mac OS X や一部のアプリケーションが正常に動作しない場合は、ディスク イメージからオペレーティング システムをリカバリするタイミングといえるでしょう。最初に、問題の原因を特定することをお勧めします。

システム エラーの原因には、2 つの基本的な要因があります。

■ ハードウェア障害

この場合は、ハードウェア メーカーのサービス センターに問い合わせることをお勧めします。

■ オペレーティング システム、アプリケーション、またはデータの損傷

障害の原因がウィルス、マルウェア、システム ファイルの損傷である場合は、バックアップからシステムをリカバリします。詳細については、「Mac のリカバリ『70ページ』」を参照してください。

問題の原因を特定する手順は、次のとおりです。

1. ケーブル、コネクタ、外付けデバイスの電源などを確認します。

2. Mac を再起動します。Mac の起動中に **Option** キーを押し続けます。リカバリ メニューが表示されます。
3. 一覧から **[ディスク ユーティリティ]** を選択し、**[続行]** をクリックします。
4. 確認するディスクを選択し、**[First Aid]** をクリックします。

ディスク故障の可能性がディスク ユーティリティによって示された場合は、ディスクの物理的な状態に原因があります。たとえば、不良セクタが含まれている可能性があります。可能な限り早くディスクをバックアップして置き換えることをお勧めします。

5. **[ディスクを検証]** をクリックします。
 - エラーが存在する場合は、**[ディスクを修復]** をクリックします。ディスクが正常であること、または修復されたことがディスク ユーティリティによって示された場合は、Mac を再起動し、通常の使用を継続します。エラーが解消されない場合は、Acronis True Image バックアップから Mac をリカバリします。詳細については、「Mac のリカバリ 『70ページ 』」を参照してください。
 - ディスクユーティリティでエラーが検出されなかった場合は、Acronis True Image バックアップから Mac をリカバリします。詳細については、「Mac のリカバリ 『70ページ 』」を参照してください。

4.2 Mac のリカバリ

Mac が起動しない、または正常に動作しない場合は、次の手順を実行して Mac をリカバリします。

Mac をリカバリする手順は、次のとおりです。

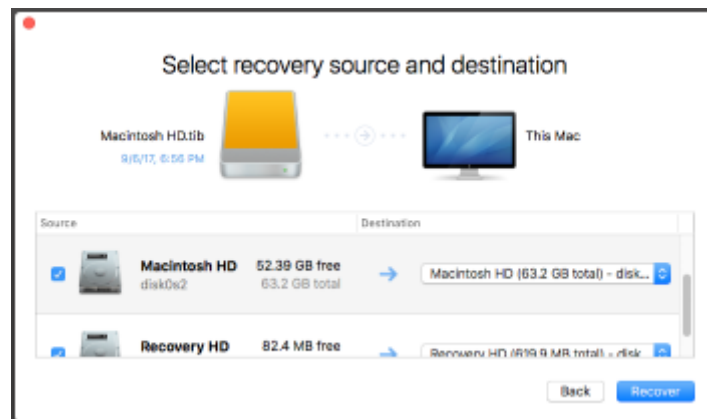
1. 次のものが用意されていることを確認してください。
 - 作成済みの Acronis True Image バックアップ。バックアップがない場合はリカバリを実行できません。詳細については、「ローカル ストレージまたはネットワーク ストレージへのバックアップ 『24ページ 』」および「Acronis Cloud へのバックアップ 『27ページ 』」を参照してください。
 - Acronis ブータブルメディア。用意していない場合は、Mac で Acronis True Image 2019 を起動し、可能な限り早くメディアを作成してください。詳細については、「ブータブル レスキュー メディアの作成 『64ページ 』」を参照してください。

2. Mac にブータブル メディアを接続します。
3. Mac を起動または再起動します。Mac の起動中に **Option** キーを押し続けます。ブートメニューが表示されます。
4. 起動元のデバイスとして Acronis メディアを選択します。**OS X のユーティリティ**の一覧が表示されます。



5. **[Acronis True Image のバックアップからリカバリ]** を選択し、**[続行]** をクリックします。
6. 表示されたウィンドウで、バックアップの場所を選択します。
 - **Acronis Survival Kit**
 - **ローカルストレージ**
 - **Acronis Cloud-** Acronis アカウントにサインインします。
 - **[ネットワーク]**バックアップを選択して、**[開く]** をクリックします。
7. 一覧から Mac のリカバリに使用するバックアップのバージョンを選択して、**[次へ]** をクリックします。選択したバージョンの内容が表示されます。

8. リカバリ対象のパーティションの横にあるチェックボックスをオンにします。各パーティションのリカバリ先を選択します。



注意: Acronis True Image がバックアップ内の各パーティションのターゲットを自動的に判断する場合は、簡易ビューが表示されます。このモードでは変更を加えることができません。手動でパーティションを選択する必要がある場合は、**[詳細ビュー]** ボタンをクリックします。

9. リカバリを開始するには、**[リカバリする]** をクリックし、リカバリ先のパーティションにあるデータをすべて消去することを確認します。
10. リカバリが完了したら、Mac を再起動します。

4.2.1 Boot Camp パーティションに関する FAQ

- **Boot Camp パーティションをバックアップするにはどうすればよいですか？**

Boot Camp がインストールされているハード ドライブをバックアップします。バックアップには、ドライブに保存されているすべてのデータ (Boot Camp パーティションを含む) が格納されます。

- **Boot Camp パーティションを個別にバックアップすることはできますか？**

Acronis True Image 2019 ではディスク レベルのバックアップのみを作成することが可能なため、個別にバックアップすることはできません。代替の方法として、Boot Camp パーティションが含まれているハード ドライブをバックアップすることができます。

- **Boot Camp パーティションをリカバリするにはどうすればよいですか？**

リカバリはブータブル メディア環境で実行できます。リカバリ元およびリカバリ先を選択するときに、一覧表示されるパーティションをすべて選択します。この操作により、ハード ドライブ全体がリカバリされます。Boot Camp パーティションのみをリカバリ

するには、該当のパーティションの横にあるチェックボックスをオンにして、それ以外のチェックボックスをオフにします。

- **リカバリを実行する前に Boot Camp パーティションのサイズを変更することはできますか？**

Boot Camp パーティションのサイズはバックアップ時と同じであるため、サイズを変更することはできません。

- **Boot Camp パーティションのリカバリ先として選択できる場所はどこですか？**

任意のリカバリ先を選択できますが、Boot Camp パーティション自体にリカバリを実行することを強くお勧めいたします。

- **バックアップ済みの Boot Camp パーティションから特定のファイルをリカバリすることはできますか？**

その他のファイルのリカバリ方法と同様に、制限なくファイルをリカバリすることができます。

- **ハード ドライブを新しいものに取り替えたいのですが、新しいハード ドライブに OS X、Boot Camp パーティション、すべてのデータのクローンを作成できますか？**

作成できます。クローンを作成するには、次の操作を実行します。

1. 外部のストレージ メディア (Acronis Cloud、USB ドライブ、ネットワーク共有など) にハード ドライブをバックアップします。
2. Mac の電源をオフにし、ハード ドライブを新しいものに交換します。
3. Acronis ブータブルメディアを使用して Mac を起動します。
4. バックアップから新しいハード ドライブに Mac をリカバリします。

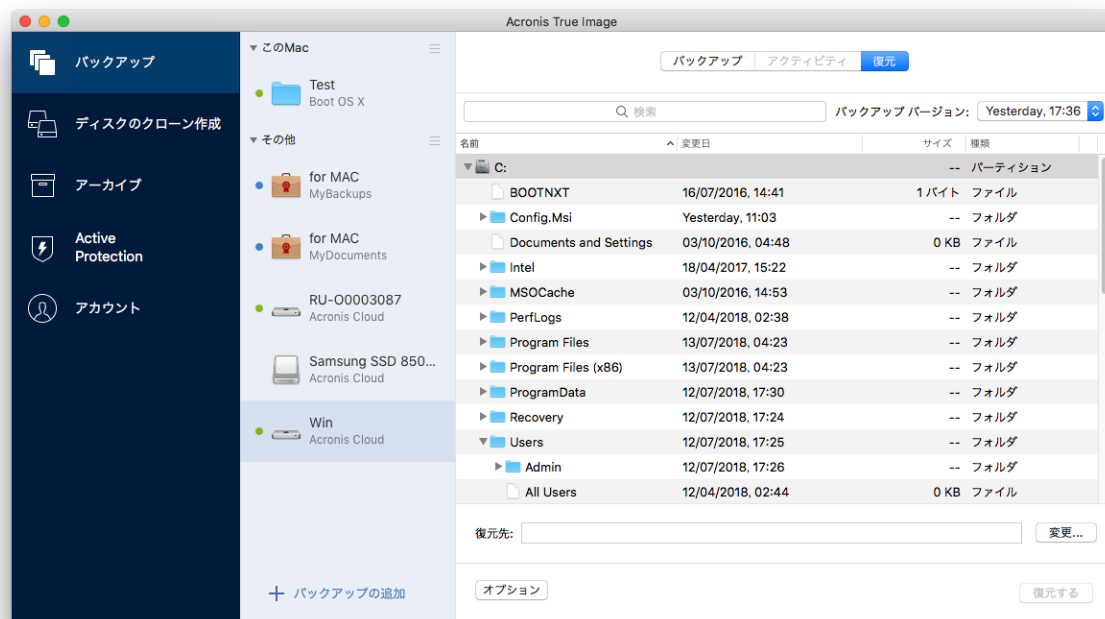
4.3 ファイルの復元

バックアップから特定のファイルやフォルダを復元する必要がある場合は、次の手順を実行します。

ファイルやフォルダをリカバリする手順は、次のとおりです。

1. Acronis True Image 2019 を起動します。
2. 左側のペインで、リカバリするファイルやフォルダが含まれているバックアップを選択し、**[リカバリ]** タブを開きます。

バックアップの内容がウィンドウに表示されます。



3. **[バックアップバージョン]** の一覧で、バックアップ作成日をもとにバックアップバージョンを選択します。この手順を行うことで、ファイルおよびフォルダが指定の日付に保存された状態にリカバリされます。
4. リカバリするファイルまたはフォルダを選択します。
5. (オプションの手順)デフォルトでは、選択したファイルやフォルダは元の場所にリカバリされます。リカバリ先の場所を変更するには、**[変更]** をクリックして、リカバリに使用する場所を参照します。
6. (クラウドバックアップのみで使用可能なオプションの手順)**[オプション]** をクリックし、ファイルリカバリオプションを構成します。詳細については、「ファイルリカバリオプション 『81ページ 』」を参照してください。
7. **[リカバリする]** をクリックします。処理が完了すると、選択した日時の状態にデータがリカバリされ、元の場所または指定した場所に保存されます。

認証バックアップの場合、Acronis True Image 2019 は復元されたファイルの信頼性も検証します。

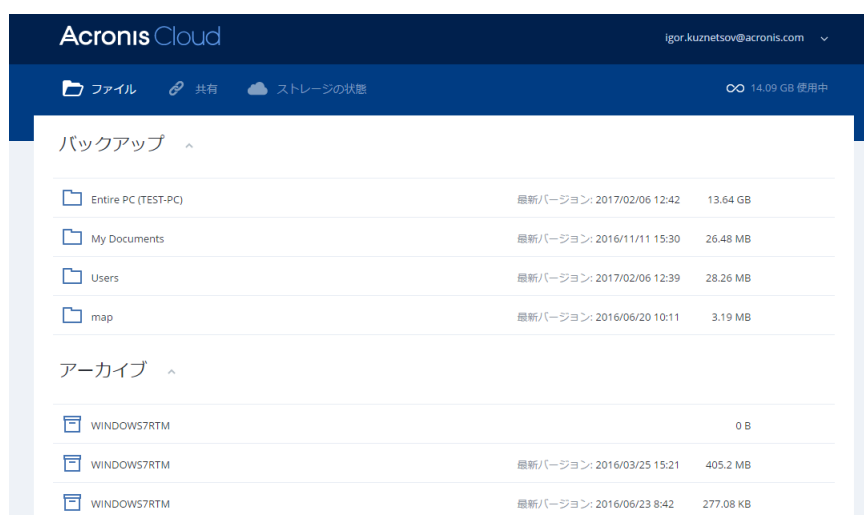
4.4 任意のデバイスからのクラウドデータの復元

Acronis Cloud に保存されているオンライン バックアップから特定のファイルやフォルダをリカバリできます。この処理を実行するには、まず Acronis Cloud ウェブ アプリケーションを起動する必要があります。

Acronis Cloud ウェブ アプリケーションを起動するには、次のいずれかを実行します。

- Acronis True Image 2019 がインストールされている Mac で、次の操作を実行します。
 1. Acronis True Image 2019 を起動します。
 2. 左側のペインで、リカバリするファイルやフォルダが含まれているバックアップを選択します。
 3. 右側のペインで、**[ファイルの参照]** をクリックします。
- インターネットに接続されているコンピュータまたはモバイルデバイスで、次のようにします。
 1. Web ブラウザで、<https://www.acronis.com/my/online-backup/webrestore/> を開きます。
 2. Acronis アカウントにログインします。

ブラウザでウェブ アプリケーションが起動します。



最新バージョンのファイルとフォルダのリカバリ

ファイルやフォルダをリカバリする手順:

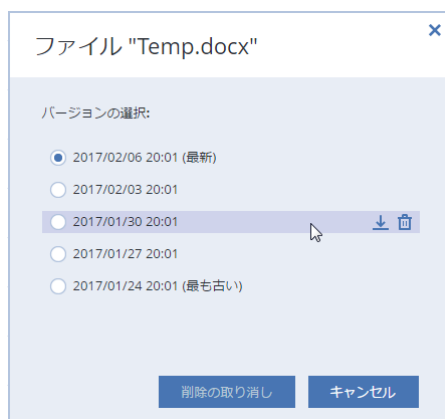
1. Acronis Cloud ウェブ アプリケーションの **【ファイル】** タブで、リカバリするファイルまたはフォルダを選択します。[検索] フィールドを使用することもできます。
2. リカバリを開始するには、**【ダウンロード】** をクリックします。
データは **【ダウンロード】** フォルダにダウンロードされます。

以前のファイル バージョンへのリカバリ

このオプションはフォルダには適用されません。

特定のファイル バージョンをリカバリする手順は、次のとおりです。

1. Acronis Cloud ウェブ アプリケーションの **【ファイル】** タブで、リカバリするファイルを選択します。[検索] フィールドを使用することもできます。
2. ファイルを選択してファイルの右側にある歯車アイコンをクリックし、**【バージョンの表示】** をクリックします。
3. 表示されるウィンドウで、目的のバージョンを選択し、**【ダウンロード】** アイコンをクリックします。



デフォルトでは、データは **Downloads** フォルダにダウンロードされます。

4.5 Facebook アカウントの復元

Acronis True Image 2019 を使用すると、写真、投稿、プロフィール情報、およびその他のデータやアクティビティの消失から Facebook アカウント全体を保護することができます。アカウントデータのクラウドバックアップがある場合、それらのデータを参照して特定のアイテムを復元できます。

Facebook データを参照して復元する手順:

1. 次のいずれかを実行してオンラインダッシュボードを開きます。
 - <https://cloud.acronis.com> のリンクをクリックします。
 - Acronis True Image 2019 のサイドバーで **[アカウント]**、続いて **[オンラインダッシュボードを開く]** をクリックします。
2. Acronis のマイアカウントにサインインします。
3. サイドバーで **[リソース]** をクリックし、Facebook バックアップボックスを見つけます。
4. 次のいずれかを実行します。
 - アカウントデータを復元するには、歯車アイコンをクリックして **[アカウントの復元]** をクリックします。次に、目的のアカウントと復元するアイテムを選択し、プライバシーの設定を行い、**[復元]** をクリックします。
 - 特定のアイテムを復元するには、**[データの参照]** をクリックします。オンラインダッシュボードで、バックアップされたアイテムの一覧が表示されます。これらのアイテムを参照したり、内容を表示できます。また、検索を使用して特定のアイテムを見つけることもできます（一部のデータの種類には未対応）。

アイテムを選択した後、実行する操作を選択できます（データの種類に応じて、一部の操作は使用できないことがあります）。

 - **[元のデータを表示]** — クリックすると、選択したアイテムを Facebook で表示できます。
 - **[内容の表示]** — クリックすると、アイテムの詳細を表示したり、アイテムを最大サイズで開くことができます。
 - **[復元]** (Acronis True Image 2017 以降で利用可能)– クリックすると、現在の Facebook アカウントまたは別のアカウントにデータを復元することができます。復元するアイテムのプライバシー設定を設定することもできます。
 - **[ダウンロード]** — クリックすると、選択したファイルをダウンロードできます。
 - アイテムのコメント、いいね！、タグ付けされたユーザー、詳細情報を表示します。

4.6 Instagram アカountの復元

Instagram アカountデータのクラウドバックアップがある場合、それらのデータを参照してバックアップされた写真やビデオをダウンロードできます。

注: Instagram では、Instagram アプリケーションへの投稿またはプロフィール情報の復元をサポートしていません。ダウンロードすることだけが可能です。

Instagram データを参照して復元する手順:

1. 次のいずれかを実行してオンラインダッシュボードを開きます。
 - <https://cloud.acronis.com> のリンクをクリックします。
 - Acronis True Image 2019 のサイドバーで **[アカウント]**、続いて **[オンラインダッシュボードを開く]** をクリックします。
2. Acronis のマイアカountにサインインします。
3. サイドバーで **[リソース]** をクリックし、Instagram バックアップボックスを見つけます。
4. **[データの参照]** をクリックします。
5. 次のいずれかを実行します。
 - プロファイル情報を表示するには、**[プロフィール]** をクリックします。
 - バックアップされた投稿を表示するには、**[マイフィード]** をクリックします。次の操作を実行できます。
 - Instagram アプリケーションでの場合と同じ方法で参照します。
 - 選択したアプリケーションを Instagram アプリケーションで表示するには、**[元の場所]** をクリックします。
 - 特定の写真とビデオをダウンロードします。
 - **[すべてダウンロード]** をクリックすると、バックアップされた写真とビデオのすべてがダウンロードされます。

4.7 Office 365 データの復元

Acronis True Image 2019 を使用すると、電子メールメッセージ、ファイルとフォルダ、プロフィール情報、およびその他のデータの消失から個人の Office 365 アカountを保護

することができます。アカウントデータのクラウドバックアップがある場合、それらのデータを参照して特定のアイテムを復元できます。

復元可能なアイテム

メールボックスバックアップから復元が可能なアイテムは次のとおりです。

- メールボックス全体
- 電子メールメッセージ
- 添付ファイル

OneDrive バックアップから復元が可能なアイテムは次のとおりです。

- OneDrive 全体
- バックアップされたファイルとフォルダ

Office 365 データの復元

データを参照して復元するには:

1. 次のいずれかを実行してオンラインダッシュボードを開きます。
 - <https://cloud.acronis.com> のリンクをクリックします。
 - Acronis True Image 2019 のサイドバーで **[アカウント]**、続いて **[オンラインダッシュボードを開く]** をクリックします。
2. Acronis のマイアカウントにサインインします。
3. サイドバーで、**[リソース]** をクリックし、Office 365 バックアップボックスを探してから、**[復元]** をクリックします。
4. バックアップの一覧を参照します。必要に応じて、フィルタを使用して内容でバックアップを検索します。
5. バックアップを選択したら、**[復元...]** をクリックして、復元するデータを選択します。
 - OneDrive 全体または特定のファイルとフォルダ。
 - メールボックス全体または特定のメッセージ。

特定のアイテムの復元を選択すると、オンラインダッシュボードで、バックアップされたアイテムの一覧が表示されます。これらのアイテムを参照したり、内容を表示できます。また、検索を使用して特定のアイテムを見つけることもできます (一部のデータの種類には未対応)。

アイテムを選択した後、実行する操作を選択できます(データの種類に応じて、一部の操作は使用できないことがあります)。

- **[内容の表示]** — クリックすると、アイテムの詳細を表示したり、アイテムを最大サイズで開くことができます。
- **[Send as email (電子メールとして送信)]**: メッセージを選択した受信者に送信する場合にクリックします。
- **[Show versions (バージョンの表示)]**: アイテムのバージョンを表示する場合にクリックします。
- **[復元]**: 復元するアイテムの場所を指定する場合にクリックします。アイテムによっては、共有権限を復元することもできます。
- **[ダウンロード]** — クリックすると、選択したファイルをダウンロードできます。

6. **[Start recovery (復元の開始)]**をクリックします。

4.8 バックアップの内容の検索

ローカルバックアップからデータを復元する際、選択したバックアップ内に保存された特定のファイルやフォルダを検索できます。

ファイルやフォルダを検索する手順は、次のとおりです。

1. ローカルストレージまたはネットワークストレージからのファイルのリカバリ 『73ページ』の説明に従ってデータの復元を開始します。
2. 復元するファイルやフォルダを選択する際、**[検索]** フィールドにファイル名またはフォルダ名を入力します。検索結果が表示されます。

ワイルドカード文字 (*および?)も使用できます。たとえば、拡張子が「.exe」のファイルを検索するには、「*.exe」と入力します。「my」で始まる 5 文字のファイル名が付いた「.exe」ファイルをすべて検索するには、「my???.exe」と入力します。

3. デフォルトでは、Acronis True Image 2019は前の手順で選択したフォルダを検索します。バックアップ全体を検索対象にするには、**[すべてのバックアップ]** をクリックします。

前の手順に戻るには、クロスアイコンをクリックします。

4. 検索完了後、復元するファイルを選択したら、**[次へ]** をクリックします。

注意: [バージョン] 項目に注意してください。異なるバックアップバージョンに属するファイルやフォルダを同時に復元することはできません。

4.9 ファイルリカバリオプション

Acronis Cloud に保存されているバックアップの場合、次のファイルリカバリオプションを選択できます。

- **[ファイルパーミッションの保持]** このオプションを選択すると、バックアップファイルのすべてのセキュリティプロパティ（グループまたはユーザーに割り当てられる許可）が保存されます。デフォルトでは、ファイルとフォルダは元のセキュリティ設定（各ユーザーに付与される書き込み、読み取り、実行などの許可）と共にバックアップに保存されます。異なるユーザーアカウントを使用してバックアップされたファイル/フォルダをコンピュータでリカバリすると、そのファイルの読み取りや変更ができなくなる可能性があります。

このオプションをオフにして現在のユーザーのホームフォルダにファイルをリカバリすると、リカバリされたファイル/フォルダの所有者は現在のユーザーになります。

- **[既存のファイルを上書きする]**（ファイル/フォルダレベルのクラウドバックアップに対してのみ使用可能）: このオプションを選択すると、ハードディスクのファイルがバックアップのファイルと異なる場合、バックアップのファイルによって上書きされます。ファイルまたはフォルダのリカバリ時に、ファイルまたはフォルダの最近の変更内容を維持する場合は、**[より新しいファイルとフォルダを上書きしない]** オプションを選択します。

5 ディスクのクローン作成

セクションの内容

ディスクのクローン作成ユーティリティ.....	82
ディスクのクローンを作成.....	83
2 台の Mac の接続.....	85

5.1 ディスクのクローン作成ユーティリティ

通常のコピー処理では、新しいハード ディスク ドライブを古いハード ディスク ドライブとまったく同じように使用することはできません。たとえば、Finderを開いて、すべてのファイルとフォルダを新しいハードディスクドライブにコピーしても、macOS は新しいハードディスクドライブから起動しません。ディスクのクローン作成ユーティリティでは、すべてのデータを複製し、macOS を新しいハードディスクドライブでブータブルにすることができます。その結果、新しいディスクが古いディスクのクローンになります。

必要になる状況:

- 新しい iMac または MacBook を購入すると、macOS を含め、すべてのデータを古い Mac から新しい Mac へ転送する必要がある場合があります。
- そこで、Mac のハード ドライブのポータブル クローンを外部ドライブに作成したいと考えます。この外部ドライブがあれば、任意の Mac に接続して、ブートし、その Mac を以前の Mac の正確なコピーにすることができます。

使用できるドライブ:

- Mac の内蔵システム ドライブ(ソース ディスクとしてのみ使用可能)
- Mac の内蔵非システム ドライブ
- 別の Mac の内蔵ドライブ
- 外付けドライブ
- USB フラッシュ ドライブ

宛先ドライブがソース ドライブより大きかったり、小さかったりする場合、宛先ドライブのスペースに合わせてソース ドライブのパーティションのサイズが調整されます。唯一の

例外は、パーティションが 1 GB 未満の場合です。そのようなパーティションはサイズ調整されません。

宛先ディスクとソース ディスクのサイズは同じである必要はありませんが、宛先ディスク全体のサイズはソース ディスクの使用済みスペースにその 10%を加えたサイズより大きい必要があります。たとえば、Mac のハードドライブが 1000 GB であり、200 GB だけが使用されているとします。このクローンを作成するには、宛先ドライブのサイズは $200 + 10\% = 220$ GB 以上である必要があります。宛先ドライブがこれより小さい場合、ソース ドライブから不要なデータを削除したり、データを外部ドライブ、USB フラッシュ ドライブ、クラウド ストレージに移動したりしてください。

5.2 ディスクのクローンを作成

通常のコピー処理では、新しいハード ディスク ドライブを古いハード ディスク ドライブとまったく同じように使用することはできません。たとえば、Finder を開いて、すべてのファイルとフォルダを新しいハードディスクドライブにコピーしても、macOS は新しいハードディスクドライブから起動しません。ディスクのクローン作成ユーティリティでは、すべてのデータを複製し、macOS を新しいハードディスクドライブでブータブルにすることができます。その結果、新しいディスクが古いディスクのクローンになります。詳細については、「ディスクのクローン作成ユーティリティ 『82ページ 』」を参照してください。


ディスクのクローンを作成する手順は、次のとおりです。

1. Mac で Parallels Desktop 仮想マシンを実行している場合、仮想マシンをオフにしてください。
2. ソースドライブとターゲットドライブが Mac に接続していることを確認します。別の Mac を接続する必要がある場合は、その Mac がターゲットディスクモードで接続していることを確認してください。詳細については、「2 台の Mac の接続 『85ページ 』」を参照してください。
3. Acronis True Image 2019 を起動します。
4. サイドバーの **[ディスクのクローン作成]** をクリックし、**[続行]** をクリックします。
5. デフォルトでは、内蔵システムドライブがクローン作成元として事前に選択されています。これを変更するには、クローン作成元のアイコンをクリックし、クローン作成対象のドライブを選択します。

6. ターゲットドライブを接続します。

APM ディスクはサポートされないことに注意してください。APM ディスクを使用している場合は、GPT または MBR にフォーマットすることをおすすめします。

7. クローン作成先のアイコンをクリックし、クローンデータのターゲットドライブを選択します。

 クローン作成操作を開始すると、ターゲットドライブがフォーマットされ、保存されているデータがすべて完全に削除されます。ディスクが空であるか、重要なデータが含まれていないことを確認します。

8. **[クローン作成]** をクリックします。

何らかの原因でクローン作成処理が停止した場合は、処理をもう一度設定して開始する必要があります。データは消去されません。クローンの作成中に Acronis True Image によって元のディスクや、ディスクに保存されているデータが変更されることはありません。

Fusion Drive のクローン作成

Fusion Drive は、比較的低速なハードディスクドライブ (HDD) と高速なソリッドステートドライブ (SSD) を組み合わせたハイブリッドドライブです。Mac では、Fusion Drive は両方のドライブを合わせた領域を持つ単一の論理ボリュームとして表示されます。


Acronis True Image 2019 を使用すれば、Fusion Drive を Fusion Drive または他のターゲットドライブにクローン作成することができます。

Fusion Drive をクローン作成するには:

1. Mac で Parallels Desktop 仮想マシンを実行している場合、仮想マシンをオフにしてください。
2. ソースドライブとターゲットドライブが Mac に接続されていることを確認してください。不要な外付けドライブはすべて外します。
3. Acronis True Image 2019 を起動します。
4. サイドバーの **[ディスクのクローン作成]** をクリックし、**[続行]** をクリックします。
5. Fusion Drive をクローン作成ソースとして選択します。
6. ターゲットドライブを接続します。

7. クローン作成先のアイコンをクリックし、クローンデータのターゲットドライブを選択します。

複数のディスクがある場合は、**[Create a Fusion Drive (Fusion Drive を作成する)]** チェックボックスが表示されます。Fusion Drive を作成する場合は、このチェックボックスをオンにしてから、2 つのディスクを選択します。選択内容を確認入力します。

 クローン作成操作を開始すると、ターゲットドライブがフォーマットされ、保存されているデータがすべて完全に削除されます。ディスクが空であるか、重要なデータが含まれていないことを確認します。

8. **[クローン作成]** をクリックします。

5.3 2 台の Mac の接続

ハードドライブのクローンを別の Mac に作成するには、ターゲット Mac がターゲットディスクモードで接続している必要があります。

ターゲット Mac をソース Mac に接続する手順は、次のとおりです。

1. ソース Mac とターゲット Mac の両方を起動します。
2. FireWire ケーブルまたは Thunderbolt ケーブルを使用してこれらの Mac を接続します。
3. ターゲット Mac で **[アップルメニュー] > [システム環境設定]** の順にクリックし、**[起動ディスク]**、**[ターゲットディスクモード]** の順にクリックします。

コンピュータを再起動すると、ソース Mac のデスクトップに新しいディスクアイコンが表示されます。この時点から、ターゲット Mac のハードドライブを通常の外付けドライブとして使用できます（クローン作成操作のターゲットドライブとして選択するなど）。

4. クローン作成操作が完了したら、ターゲットドライブのアイコンをゴミ箱に移動してターゲットドライブを取り出します。
5. ターゲット Mac をオフにし、ケーブルを外します。

6 家族間のデータ保護

セクションの内容

家族間のデータ保護とは.....	86
新しいデバイスの追加	87
任意のコンピュータのバックアップ	87
オンラインダッシュボードでのデータの復元.....	88

6.1 家族間のデータ保護とは

家族間のデータ保護は、クロスプラットフォーム統合ソリューションであり、Acronis の同一アカウントで共有するすべてのコンピュータ、スマートフォン、およびタブレットの保護ステータスを追跡および制御することができます。これらのデバイスのユーザーは同じアカウントにサインインする必要があるため、通常は家族の全員がユーザーになります。通常、家族の全員がこの機能を使用できますが、家族の中には技術的な経験をお持ちの方がいることも多くなっています。そのため、その方が家族のデータを保護するのに適任と言えます。

複数のデバイスの保護状況の追跡および制御には、ウェブベースのオンラインダッシュボードを使用します。これはインターネットに接続しているコンピュータであればアクセスが可能です。このウェブアプリケーションを使用して、ご家庭でも次のような IT 管理を実行できます。

- Windows、Mac OS X、iOS、および Android が動作する、ご家庭内のすべてのデバイスのバックアップおよび同期の現状を管理。
- 新しいデバイスをリストに追加。
- 任意のコンピュータで任意のバックアップを手動で起動。
- 保護されていないコンピュータの最初の完全バックアップを実行して Acronis Cloud に保存。
- Acronis Cloud にある任意のバックアップ (Windows、Mac、および iOS や Android を実行しているデバイスからのバックアップなど) からデータをリカバリ。
- 製品に関連する問題の一部を解決。

6.2 新しいデバイスの追加

オンラインダッシュボードを使用して、デバイスリストに新しいデバイスを追加できます。

デバイスリストに新しいデバイスを追加するには、次の手順を実行します。

1. 追加するデバイスから、オンラインダッシュボード (<https://cloud.acronis.com>)を開きます。
2. Acronis のマイアカウントにサインインします。
3. **[デバイス]** タブで、**[デバイスの追加]** をクリックします。
4. Acronis True Image をダウンロードしてインストールします。
5. Acronis True Image を起動して、同じ Acronis アカウントにサインインします。

6.3 任意のコンピュータのバックアップ

ウェブベースのオンラインダッシュボードを使用して、同じ Acronis アカウントを共有している任意のコンピュータ (Windows または Mac)をバックアップできます。

デバイスがまだ保護されていない場合は、デフォルト設定を使用してバックアップできます。Acronis True Image 2019 では、デバイスのコンテンツ全体 (たとえば、PC 全体のバックアップ)が Acronis Cloud にバックアップされます。デフォルト設定はウェブアプリでは変更できません。設定をカスタマイズする必要がある場合は、そのデバイスで Acronis True Image 2019 を起動し、バックアップを手動で設定します。

任意のコンピュータをバックアップするには、次の手順を実行します。

1. <https://cloud.acronis.com> でオンラインダッシュボードを開きます。
2. Acronis のマイアカウントにサインインします。
3. **[デバイス]** タブで、バックアップするデバイスを検索します。デバイスがオフラインの場合は、デバイスの電源がオンになっていることとインターネットに接続されていることを確認します。
4. 次のいずれかを実行します。
 - デバイスが以前にバックアップされている場合は、**[今すぐバックアップ]** をクリックします。

Acronis True Image 2019 によって、設定済みのバックアップスキームに基づき、新しいバックアップバージョンが作成されます。

- デバイスがまだバックアップされていない場合は、**[バックアップを有効にする]** をクリックして、バックアップが自動設定されるまで待機し、**[今すぐバックアップ]** をクリックします。

Acronis True Image 2019 で新しい完全バックアップが作成され、Acronis Cloud にアップロードされます。

6.4 オンラインダッシュボードでのデータの復元

ウェブベースのオンラインダッシュボードを使用すると、複数のデバイス (Windows、Mac、スマートフォン、タブレットなど) からアップロードされた任意のオンラインバックアップでデータを復元できます。

オンラインバックアップからデータを復元するには、次の手順を実行します。

1. <https://cloud.acronis.com> でオンラインダッシュボードを開きます。
2. Acronis のマイアカウントにサインインします。
3. **[デバイス]** タブで、復元するデータのバックアップ元デバイスを検索します。デバイスがオフラインの場合は、デバイスの電源がオンになっていることとインターネットに接続されていることを確認します。
4. **[復元]** をクリックします。
5. 左側のパネルで、バックアップバージョンをバックアップ日時で選択します。
6. 右側のパネルで、復元するファイルおよびフォルダの横にあるチェックボックスをオンにします。
7. **[ダウンロード]** をクリックします。

7 データのアーカイブ

セクションの内容

データのアーカイブについて	89
アーカイブから除外されるもの	90
クラウドアーカイブとオンラインバックアップ	91
データのアーカイブ作成	92
アーカイブ済みファイルへのアクセス	95

7.1 データのアーカイブについて

データのアーカイブは、サイズの大きいファイルや使用頻度の低いファイルを Acronis Cloud、NAS、外付けハードドライブ、または USB フラッシュドライブに移動できるツールです。このツールを実行するたびに、選択したフォルダ内のデータが解析されて、Acronis Cloud へのアップロードやローカルストレージへの移動の対象となる推奨のファイルが示されます。アーカイブするファイルやフォルダを選択できます。アーカイブへの移動が完了すると、これらのファイルのローカルコピーは削除されます。これらのファイルへのリンクは、Acronis Drive という特定の場所に保存されます。この場所には、Finder から通常のフォルダとしてアクセスできます。ファイルのリンクをダブルクリックすると、ローカルフォルダに保存されている場合と同じようにファイルが開きます。ファイルが Acronis Cloud にアーカイブされている場合は、最初にファイルがコンピュータにダウンロードされます。ファイルへのアクセスおよび管理は、Acronis Cloud でも問題なく行うことができます。

データのアーカイブの主な機能は次のとおりです。

- **ストレージを解放して空き容量を増やす**

通常、最新の大容量ハードドライブの空き領域は、オペレーティングシステムやアプリケーションではなく、写真やドキュメントなどのユーザーデータによって使用されます。大半のデータは必要に応じて使用するので、常にローカルドライブに保存する必要はありません。データのアーカイブによって、よく使用するファイルのために空き領域を解放できます。

- **クラウドアーカイブとローカルアーカイブ**

アーカイブの保存先の種類を選択することができます。Acronis Cloud、内部ハードドライブなどのローカルストレージ、外付けハードドライブ、NAS、USB フラッシュドライブなどです。保存先として Acronis Cloud を選択するたびに、選択されたデータが同一のクラウドアーカイブに保存されます。新しくアーカイブを作成する代わりに既存のアーカイブを選択することができますが、ローカルアーカイブは互いに独立しており、それぞれ異なる名前、保存先、暗号化の設定などが可能です。ローカルアーカイブの数は制限されていません。

- **すべてのデバイスからクラウドアーカイブへ簡単にアクセス**

Acronis Cloud にファイルをアーカイブした場合、Acronis True Image 2019、Acronis True Image モバイルアプリケーション、および Acronis Cloud ウェブアプリケーションを使用してファイルにアクセスすることができます。これらのアプリケーションは、Windows、Mac OS X、iOS および Android（タブレットとスマートフォン）のデバイスで利用可能です。

- **クラウドアーカイブでのデータ保護**

Acronis Cloud に保存したデータは、破損や災害から保護されます。たとえば、ローカルのハードドライブでエラーが発生した場合、ファイルを新しいハードドライブにダウンロードできます。また、データは暗号化の状態で保存されます。他のユーザーにデータにアクセスされないようにすることができます。

- **ファイルの共有**

Acronis Cloud にファイルをアップロードすると、公開リンクを作成できます。このリンクは、友人とファイルを共有したり、フォーラムやソーシャルネットワークに投稿するときに使用できます。

- **ファイルバージョン**

ファイルの編集と Acronis Cloud へのアップロードを繰り返す場合、Acronis True Image 2019 ではそれぞれのファイルバージョンでの変更がすべて保持されます。前のバージョンのファイルを選択して、デバイスにダウンロードすることが可能です。

7.2 アーカイブから除外されるもの

アーカイブのサイズを縮小し、システムの破損のおそれをなくするため、Acronis True Image 2019 では、デフォルトで、以下のデータをアーカイブの対象外としています。

- pagefile.sys
- swapfile.sys
- Network Trash Folder
- System Volume Information フォルダ
- ごみ箱
- .tib ファイル
- .tib.metadata ファイル
- .tmp ファイル
- .~ファイル

完全なリストについては、ナレッジベースの記事

(<https://kb.acronis.com/ja/content/58297>)を参照してください。

7.3 クラウドアーカイブとオンラインバックアップ

Acronis Cloud へのデータのアーカイブはオンラインバックアップと類似していますが、異なる点も多数あります。

	オンラインバックアップ	クラウドアーカイブ
機能の目的	オペレーティングシステムの破損、ハードウェア障害、個別ファイルの紛失からのデータの保護。	ローカルストレージデバイスのクリーンアップおよび Acronis Cloud へのデータの移動。
データの保護	<ul style="list-style-type: none"> ▪ コンピュータ上の各データの全体的な保護（特にオペレーティングシステム）。 ▪ 使用頻度の高いファイルの保護。 	使用頻度の低いファイルや古いファイル（個人的なドキュメントや写真など）の保護。
ソースデータの選択	手動選択。	手動選択。
ソースデータの処理	ソースデータは元の場所に保持。	ソースデータは元の場所から削除。このことにより、ハードドライブやラップトップが盗難被害にあっても、データが不正に操作されることはありません。

	オンラインバックアップ	クラウドアーカイブ
データの編集頻度	編集頻度が高いデータの場合はバックアップ。通常、データのアップデートに応じて、バックアップは複数のバージョンが存在します。	ほとんど編集しないデータの場合はアーカイブ。ファイルは、ほとんどの場合、バージョンが作成されません。

7.4 データのアーカイブ作成

データのアーカイブ機能により、古いファイルや使用頻度の低いファイルを Acronis Cloud またはローカルストレージに移動してストレージ領域を解放することができます。詳細については、「データのアーカイブについて 『89ページ』」を参照してください。

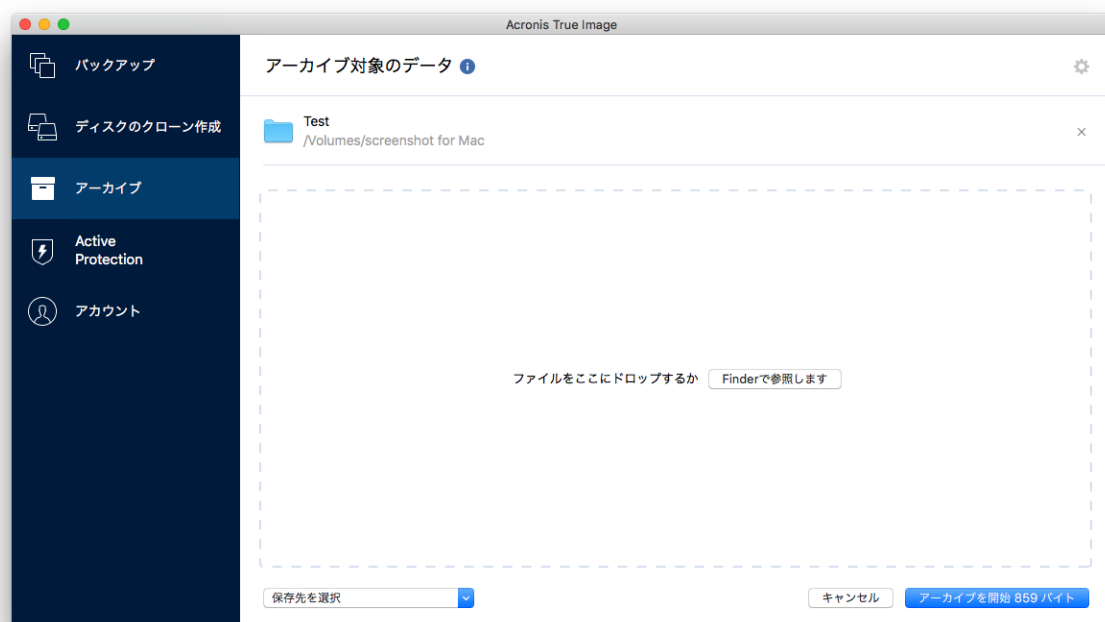
データのアーカイブを作成するには、次の手順を実行します。

1. Acronis True Image 2019 を起動して、**[アーカイブ]** セクションに移動します。



2. (オプションの手順)データのアーカイブ作成機能の概要を確認する場合は、**[はじめに]**のスライドを表示します。
3. アーカイブ対象のファイルを選択するには、次のいずれかの操作を実行します。

- (Finder などから)ファイルを [アーカイブ] 画面にドラッグします。
- **[Finder を参照]** をクリックし、アーカイブ対象のファイルを選択します。



4. **[ターゲットの選択]** をクリックし、Acronis Cloud、またはアーカイブ対象ファイル用にカスタマイズしたローカルの保存先を選択します。
5. (オプションの手順)その他の設定を行うには、歯車アイコンをクリックします。次の操作を実行できます。
 - パスワードや暗号化を使用してアーカイブを保護するには、**[設定]** → **[暗号化]** の順にクリックします。詳細については、「アーカイブの暗号化 『95ページ 』」を参照してください。
 - 特定のデータセンターを選択し、アップロード速度を設定するには、**[設定]** → **[詳細]** の順にクリックします。詳細については、「Acronis Cloud データセンターの選択 『52ページ 』」を参照してください。
6. **[アーカイブを開始]** をクリックします。
7. アーカイブにファイルが移動されると、ファイルはコンピュータから自動的に削除されます。

7.4.1 アーカイブのネットワーク設定

データセンター

Acronis Cloud にファイルをアーカイブすると、各国の Acronis データセンターの 1 つにファイルがアップロードされます。はじめに、データセンターは、Acronis アカウントの作成時の場所に最も近い場所が指定されます。デフォルトではそれ以降、アーカイブされたファイルは同一のデータセンターに保存されます。

他の国に居住している場合、またはデフォルトのデータセンターが現在地から最も近い場所ではない場合、アーカイブ用のデータセンターを手動で設定することをおすすめします。データアップロード速度を大幅に高めることができます。

注意:アーカイブ処理の開始後にデータセンターを変更することはできません。

データセンターを選択するには、次の手順を実行します。

1. 最初にアーカイブ処理を設定する際に、**[設定]** アイコンをクリックして、**[ネットワーク]** をクリックします。
2. 現在地から最も近い国を選択し、**[OK]** をクリックします。

データのアップロード速度

Acronis Cloud にデータをアーカイブする場合、Acronis True Image 2019 の接続速度を変更できます。速度の低下を気にすることなくインターネットを使用できる接続速度を設定します。

接続速度を設定する場合は、次のいずれかのオプションを選択します。

- **最大**

データ転送速度は、システム構成の最大値になります。

- **カスタム**

データのアップロード速度の最大値を指定できます。

7.4.2 アーカイブの暗号化

アーカイブされたデータを不正アクセスから保護するために、アーカイブを業界標準の AES (Advanced Encryption Standard) 暗号化アルゴリズムで 256 ビットの長さのキーを使用して暗号化できます。

注意: 既存のアーカイブのアーカイブ暗号化オプションを設定または変更することはできません。

アーカイブを暗号化する手順は、次のとおりです。

1. 最初にアーカイブ処理を設定する際に、**[設定]** アイコンをクリックして、**[暗号化]** をクリックします。
2. アーカイブ用のパスワードを対応するフィールドに入力し、**[OK]** をクリックします。
パスワードはできる限り想像しにくいものにするため、8 文字以上の、アルファベット (大文字と小文字の両方を使用することが望ましい) と数字を含むものにしてください。
パスワードを取得することはできません。アーカイブの保護用に指定したパスワードは控えておいてください。

7.5 アーカイブ済みファイルへのアクセス

- ファイルが正常にアーカイブされると、次の方法でアーカイブにアクセスできます。

- **Finder**

Finder を起動し、**[お気に入り]** の **[Acronis Drive]** をクリックします。

ファイルは読み取り専用モードで操作できます。ファイルを変更するには、まずファイルを別のフォルダにコピーします。

- **Acronis Cloud** (クラウドアーカイブの場合のみ)

次のいずれかの方法で、Acronis Cloud ウェブアプリケーションを起動します。

- Acronis True Image 2019 を起動し、**[アーカイブ]** をクリックして、**[ウェブブラウザで開く]** をクリックします。
- <https://www.acronis.co.jp/my/online-backup/> にアクセスし、アカウントにログインして、**[データを今すぐ復元する]** をクリックします。

8 ツール

セクションの内容

Acronis Active Protection	96
---------------------------------	----

8.1 Acronis Active Protection

ランサムウェアとは

ランサムウェアは、一部のファイルまたはシステム全体へのアクセスをブロックし、ブロック解除と引き換えに身代金を要求する悪意のあるソフトウェアです。このソフトウェアに感染すると、ファイルがロックされていること、およびすぐに身代金を支払わなければもうファイルにアクセスできなくなることを知らせるウィンドウが表示されます。警察などの権威機関の公式声明を装ったメッセージが表示されることもあります。このメッセージの目的は、ユーザーを脅し、IT 専門家や権威機関に助けを求めさせずに身代金を支払わせることです。さらに、身代金を支払った後にデータに対するコントロールを取り戻せる保証はありません。

安全でないウェブサイトアクセスする、知らない人からの電子メールメッセージを開く、ソーシャルネットワークやインスタントメッセージの疑わしいリンクをクリックするなどの行為により、コンピュータがランサムウェアに感染する可能性があります。

ランサムウェアでは以下のブロックが可能です。

- **コンピュータ全体**

コンピュータで Mac OS X を使用できなくなるだけでなく、何も実行できなくなります。この場合は、基本的にデータは暗号化されません。

- **特定のファイル**

通常は、文書、写真、ビデオなどの個人用ファイルです。ランサムウェアはこれらのファイルを暗号化し、暗号化キーと引き換えに身代金を支払うように要求します。ファイルの暗号化を解除するには暗号化キーを手に入れるしかありません。

- **アプリケーション**

ランサムウェアはいくつかのプログラムをブロックして実行できないようにします。最も頻繁に攻撃されるのはウェブブラウザです。

Acronis True Image 2019がデータをランサムウェアから保護する方法

コンピュータをランサムウェアから保護するため、Acronis True Image 2019 は Acronis Active Protection テクノロジを使用します。このテクノロジでは、ヒューリスティックな方法に基づき、リアルタイムモードを使用して、コンピュータ上で実行されているプロセスを監視します。ファイルの暗号化または正常なプロセスへの悪意のあるコードの挿入を試みているサードパーティプロセスを検出すると、その旨をユーザーに通知し、ファイルの変更を許可するかプロセスをブロックするかを確認します。詳細については、「ランサムウェアからのデータの保護『98ページ』」を参照してください。

ヒューリスティックな方法は、データをマルウェアから守るための効果的な方法として、現在のウィルス対策ソフトウェアで広く使用されています。シグネチャベースの方法では1つのサンプルしか検出できないのに対して、ヒューリスティックでは同様の動作のサンプルを含むマルウェアのファミリを検出できます。この方法のもう1つの利点は、まだシグネチャを持たない新種のマルウェアを検出できることです。

Acronis Active Protection では、動作のヒューリスティックを使用し、プログラムによって実行されるアクションのチェーンを分析して、悪意のある動作パターンのデータベースにあるイベントのチェーンと比較します。この方法は正確ではないため、いわゆる誤検出をして、信頼できるプログラムをマルウェアとして検出することがあります。そのような誤検出を解消するために、Acronis Active Protection では、検出されたプロセスを信頼するかどうかをユーザーに尋ねます。同じプロセスが2度目に検出された場合、ユーザーはそのプロセスを許可リストに追加し、信頼するかブロックするかのマークを付けて、このプロセスに対するデフォルトのアクションを設定できます。許可リストに追加しない場合は、このプロセスをブラックリストに登録することができます。ブラックリストに登録した場合、このプロセスはファイルを変更しようとするたびにブロックされます。

できるだけ多くの種類のパターンを収集するために、Acronis Active Protection は機械学習を使用します。このテクノロジは、テレメトリで受け取ったビッグデータの数学的処理に基づいています。これが自己学習アプローチであると言えるのは、データ処理の量が増えれば増えるほどプロセスがランサムウェアかどうかは正確に検出される可能性が高くなるからです。

通常のファイルに加えて、Acronis Active Protection は、Acronis True Image アプリケーションのファイル、バックアップ、およびアーカイブを保護します。

8.1.1 ランサムウェアからのデータの保護

Acronis Active Protection サービスがオンになっている場合、コンピュータ上で実行されているプロセスはリアルタイムモードで監視されます。ファイルを暗号化しようとしているサードパーティプロセスを検出すると、その旨をユーザーに通知し、ファイルの変更を許可するかそのプロセスをブロックするかを尋ねます。



判断する前に、プロセスが変更しようとしているファイルの一覧を確認できます。

プロセスによるファイルの変更を許可するには、**【信頼する】** をクリックします。プロセスが安全で正当なものかどうか不明な場合は、**【ブロックする】** をクリックすることをおすすめします。どちらを選択しても、プロセスの次回の実行時に Acronis True Image 2019 はもう一度ユーザーに確認します。プロセスを永続的に許可するか、プロセスがファイルを変更しようとするたびにブロックするには、**【このプロセスについての選択を記憶する】** チェックボックスをオンにして **【ブロックする】** または **【信頼する】** をクリックします。プロセスが許可リストに追加されます。このリストは **【設定】** で管理できます。

プロセスをブロックした後、ファイルが暗号化されていないか、何らかの形で破損していないかを確認することをおすすめします。ファイルが暗号化されているか破損している場合は、**【変更されたファイルを復元する】** をクリックします。Acronis True Image 2019 は、最新のファイルバージョンを検索して、次のいずれかからファイルを復元します。

- プロセスの検証中に前もって作成したファイルの一時コピー

- ローカルバックアップ
- クラウドバックアップ

この処理をデフォルトにするには、**[プロセスのブロック後、常にファイルを復元する]** チェックボックスをオンにします。

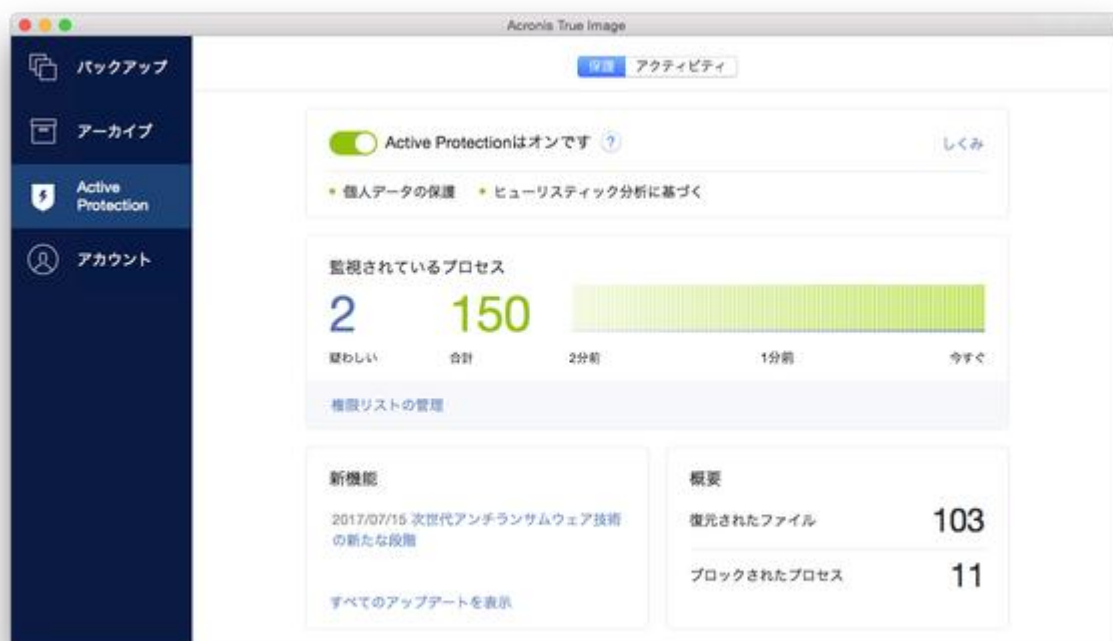
8.1.2 Acronis Active Protection の設定

Acronis Active Protection サービスがオンになっている場合、コンピュータ上で実行されているプロセスはリアルタイムモードで監視されます。ファイルを暗号化しようとしているサードパーティプロセスを検出すると、その旨をユーザーに通知し、ファイルの変更を許可するかそのプロセスをブロックするかを尋ねます。

Acronis Active Protection ダッシュボード

ダッシュボードは、保護プロセスのいくつかの統計データを表します。ダッシュボードを使用して、許可リストや除外など、主な Acronis Active Protection 設定を構成することができます。

ダッシュボードを開くには、Acronis True Image 2019 を開始し、サイドバーの **[Active Protection]** をクリックします。



ダッシュボードを使用すると、次の操作を行えます。

- Acronis Active Protection サービスをオン/オフにする
- 許可リストを管理する
このリストでアプリケーションを信頼またはブロックすることができます。
- 除外の管理
除外リストを使用して、ランサムウェアから保護しないファイルおよびフォルダを指定します。
- 監視されている安全なプロセスの現在の数をリアルタイムモードでご確認ください。
- サービス処理に関する概要の表示
- データ保護に関する記事を読覧する

macOS メニューバーのステータスアイコン

メニューバーに Acronis Active Protection ユーティリティのステータスアイコンが表示されます。



アイコンをクリックすると、次のメニュー項目が表示されます。

- **[Acronis True Image を開く]**: クリックすると、Acronis Active Protection ダッシュボードが開きます。
- **[Acronis Active Protection をオフにする]** (**[Acronis Active Protection をオンにする]**)をクリックすると、ランサムウェアからの保護をオフにしたり、オンにしたりできます。
- **[プロセスの管理]**: クリックすると、許可リストに追加されたアプリケーションの一覧が表示されます。各アプリケーションはブロック済みまたは信頼済みとマークされます。アプリケーションを一覧に追加したり、一覧から削除したり、アプリケーションのステータスを変更したりできます。
- **[ヘルプ]**: クリックすると、Acronis Active Protection のヘルプが表示されます。

著作権情報

Copyright © Acronis International GmbH, 2003-2019. All rights reserved.

Acronis、Acronis Compute with Confidence、Acronis リカバリマネージャ、Acronis Secure Zone、Acronis True Image、Acronis Try&Decide、および Acronis ロゴは、Acronis International GmbH の商標です。

Linux は Linus Torvalds 氏の登録商標です。

VMware および VMware Ready は、VMware, Inc. の米国およびその他の管轄区域における商標および登録商標です。

Windows および MS-DOS は Microsoft Corporation の登録商標です。

ユーザズ ガイドに掲載されている商標や著作権は、すべてそれぞれ各社に所有権があります。

著作権者の明示的許可なく本書を修正したものを配布することは禁じられています。

著作権者の事前の許可がない限り、商用目的で書籍の体裁をとる作品または派生的作品を販売させることは禁じられています。

本書は「現状のまま」使用されることを前提としており、商品性の黙示の保証および特定の適合性または非違反性の保証など、すべての明示的もしくは黙示的条件、表示および保証を一切行いません。ただし、この免責条項が法的に無効とされる場合はこの限りではありません。

本ソフトウェアまたはサービスにサードパーティのコードが付属している場合があります。サードパーティのライセンス条項の詳細については、ルート インストール ディレクトリにある license.txt ファイルをご参照ください。ソフトウェアまたはサービスで使用されているサードパーティのコードおよび関連ライセンス条項の最新の一覧については <https://kb.acronis.com/content/7696> (英語)をご参照ください。

Acronis の特許取得済みの技術

この製品で使用されている技術は、以下の番号の 1 つ以上の米国特許によって保護されています。7,047,380 号、7,246,211 号、7,275,139 号、7,281,104 号、7,318,135 号、7,353,355 号、7,366,859 号、7,383,327 号、7,475,282 号、7,603,533 号、7,636,824

号、7,650,473号、7,721,138号、7,779,221号、7,831,789号、7,836,053号、
7,886,120号、7,895,403号、7,934,064号、7,937,612号、7,941,510号、7,949,635
号、7,953,948号、7,979,690号、8,005,797号、8,051,044号、8,069,320号、
8,073,815号、8,074,035号、8,074,276号、8,145,607号、8,180,984号、8,225,133
号、8,261,035号、8,296,264号、8,312,259号、8,347,137号、8,484,427号、
8,645,748号、8,732,121号、8,850,060号、8,856,927号、8,996,830号、9,213,697
号、9,400,886号、9,424,678号、9,436,558号、9,471,441号、9,501,234号、および
出願中特許。